

科目名 (英)	オリエンテーション	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀、佐藤 優、白山 かがり
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	前期 (集中)
						曜日・時間	4月2日、4月3日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
専門分野ごとにこれからの学びと資格取得、就職といったキャリアプランを理解し社会に出るための心構えを構築する							
【授業を通じての到達目標】							
現状の学びと就職先について理解をする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 4月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 年間スケジュールの確認						
2 4月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 学則・学生施行細則変更点の確認						
3 4月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 ポートフォリオ作成						
4 4月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 ポートフォリオ作成						
5 4月3日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 キャリアセンターより就職活動に関する業界動向と注意事項						
6 4月3日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 キャリアセンターより就職活動に関する業界動向と注意事項						
7 4月3日	【授業単元】 教材配布・確認 【到達目標】 授業で使用する教科書・教材を確認する						
8 4月3日	【授業単元】 教材配布・確認 【到達目標】 授業で使用する教科書・教材を確認する			【評価について】 ●オリエンテーション導入教育は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	ベルリンピック	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀、白山 かがり、佐藤 優
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	前期 (集中)
						曜日・時間	6月11日、6月12日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容業界での経験がある担任が、チームワークなど他者との関わりの重要性を体験学習を通じて学ぶ							
【授業を通じての到達目標】							
他者との関わりを通じて思い遣りの気持ちを醸成する また物事の先を読む力を養う							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 6月11日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 ベルリンピック(運動会)についての説明 本日の進行方法の説明						
2 6月11日	【授業単元】 ベルリンピック前日準備 【到達目標】 競技最終練習						
3 6月11日	【授業単元】 ベルリンピック前日準備 【到達目標】 競技最終練習						
4 6月11日	【授業単元】 ベルリンピック前日準備 【到達目標】 準備物搬出						
5 6月12日	【授業単元】 競技前準備・ベルリンピック 【到達目標】 競技前準備並びに運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する						
6 6月12日	【授業単元】 ベルリンピック 【到達目標】 運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する						
7 6月12日	【授業単元】 ベルリンピック 【到達目標】 運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する						
8 6月12日	【授業単元】 ベルリンピック 【到達目標】 運動会の各競技から相互支援的な関わりを体感する			【評価について】 ●1・2年生交流会は出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	キャリア講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤/坂松
学科・コース	トータルビューティ科 全分野共通	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	3セメスター
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
社会人、企業人として、企業社会にソフトランディングするために、社会人の仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。※美容業界に従事経験のある担任によるキャリア教育							
【授業を通じての到達目標】							
社会人として仕事をスムーズに進められる方法、雇用形態、各種保険、税金などの種類、一社会人として対応できる力を身につけ、説明できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
名札、筆記用具、授業用ファイル(各自準備)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 卒業までのシミュレーションを行い、社会人になる心構えを持つ。 【到達目標】 ※授業初回のオリエンテーションを行い、卒業までのスケジュールを知る。 ・各委員決め(クラスリーダー／号令係り／ベルリンピック委員会) ・卒業までのスケジュール確認を行う。			8	【授業単元】 季節の書状についての理解を深め、常識を知り、説明できるようになる。 【到達目標】 暑中見舞い、残暑見舞い、年賀状、寒中見舞い、季節のご挨拶について理解し、はがきの書き方を確認説明できるようになる。内定先企業、またはお世話になっている先生へ暑中見舞いを投函する。		
2	【授業単元】 社会人としての挨拶、立ち振る舞い、報連相を学び、実践する。 【到達目標】 ・内定のお礼状、退職のご挨拶、異動のご挨拶、着任のご挨拶を知り、記述する事ができるようになる。 ・社会人として、基本的な立ち振る舞いを学ぶ。 ・報連相を用いて仕事の流れをスムーズに行うポイントを知る。			9	【授業単元】 冠婚葬祭マナーを理解し社会人としての対応を説明できるようになる。 【到達目標】 ・社会人になる上で、冠婚葬祭マナーを知っておく事で、列席する際の常識などを身につけ、スマートな立ち振る舞いができるようになり、それを説明できるようになる。		
3・4	【授業単元】 課外授業で業界研究をし、最新の化粧品市場の情報を知る。 【到達目標】 ・最新の美容を知り、市場の動きを知る。 ・学生サロンを行う上での情報をたくさん入手し後に行う発表で得た知識を発表し、現場に活かせるようになる。 *ビューティーワールドジャパン * 日程:5/15(水)3・4限 * 場所:東京ビックサイト ※課外授業の為現地集合。 ※5/15(水)に3・4限一緒に行うので、5/8(水)の就職講座は休講となります。			10	【授業単元】 今後のキャリアプランについて理解を深め、説明できるようになる。 【到達目標】 内定～入社～キャリアアップまでの道筋を知り、今後の人生設計を自分で記述する事ができるようになる。役職、会社の中での役割の仕様の内容を知り、説明できるようになる。(TBアワード準備アンケート)		
				11	【授業単元】 給与の額面と手取りの違いを知り、給与の仕組みを説明する。税金について理解し説明する。 【到達目標】 ・給与の仕組み(額面、給与、各種手当)について理解し、説明する。 ・今後支払うべき税金についての仕組みを知り、説明する。		
5	【授業単元】 課外授業振り返り 【到達目標】 ・発表までの流れを確認する。(概要説明) ・5人グループに分かれ課外授業で得た知識などの発表を行う。 ・次回発表までにどのブランドの商品を調査するかを決定する。 ・発表にあたり、各グループの役割を決定させる。			12	【授業単元】 TBアワード 【到達目標】 夏休み前に学んだ事の振り返りを行い、頑張ったことを自分自身で認め、できるようになったこと、今後の課題を省みる。		
6	【授業単元】 会社の雇用形態、各種保険について理解しその上で働くことを理解する。 【到達目標】 ・雇用形態別の特徴を学び、説明する事ができるようになる。(正社員、契約社員、アルバイト、パートタイマー) ・各種保険について理解し、説明する事ができるようになる。(労災保険、雇用保険、健康保険、年金保険)			13	【授業単元】 接遇検定シミュレーションで接客の理解を深める。 【到達目標】 サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、応対の技術、口のきき方、態度・振舞いなどを学び、社会人の接客のシミュレーションを行う。		
7	【授業単元】 1Qで身につけた知識の確認【定期試験】 【到達目標】 ・ご挨拶の種類、社会人の立ち振る舞いについて ・給与の仕組み、税金について			14	【授業単元】 サロンでの電話対応の仕方を学び、述べる。 【到達目標】 ・電話対応の種類を知り、対応ができるようになる。(電話予約、予約キャンセル、本社からの電話、商品の問い合わせ、不審電話) ・実際に電話をかけ応対トレーニングを行い、スムーズに対応できるようになる。		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点) 不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】 2Qで身につけた知識の確認【定期試験】 【到達目標】 ・季節の書状についての記述 ・冠婚葬祭マナーについての記述 ・キャリアアップについての記述 ・給与の仕組み、税金についての記述		
					【特記事項】		

科目名 (英)	就職セミナー	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀、佐藤 優、白山 かがり
学科・コース	トータルビューティ科 共通分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 1	開講区分	前期 (集中)
						曜日・時間	4月4日、4月5日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各企業より人事担当者が来校し業界周辺の状況と自社の説明を行う							
【授業を通じての到達目標】							
現状の学びと就職先について理解をする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 4月2日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 就職活動について 企業紹介						
2 4月2日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業人事担当者から業界情報、企業案内、就職案内の各情報を伺い、自身の就職活動に役立てる						
3 4月2日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業人事担当者から業界情報、企業案内、就職案内の各情報を伺い、自身の就職活動に役立てる						
4 4月2日	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 業界分析、企業分析、就職活動準備						
5 4月3日	【授業単元】 オリエンテーション 【到達目標】 就職活動について 企業紹介						
6 4月3日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業人事担当者から業界情報、企業案内、就職案内の各情報を伺い、自身の就職活動に役立てる						
7 4月3日	【授業単元】 業界プレゼンテーション 【到達目標】 企業人事担当者から業界情報、企業案内、就職案内の各情報を伺い、自身の就職活動に役立てる						
8 4月3日	【授業単元】 振り返り 【到達目標】 業界分析、企業分析、就職活動準備			【評価について】 ●就職セミナーは出席評価とする			
【特記事項】							

科目名 (英)	ピラティス	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	秋本 いくみ
学科・コース	トータルビューティ科 全分野共通	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分 曜日・時間	前 期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ピラティスを通して、美容職に求められる体作りを実践する。ピラティスやヨガのインストラクター経験のある講師が指導する。							
【授業を通じての到達目標】							
ピラティスを通して、美容職に求められる体作りを実践して、お客様にもアドバイスできるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
動きやすい服装				特に無し			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ピラティスの歴史を学ぶ 【到達目標】 歴史を知り、学ぶ意義を知る			9 小テスト 4点	【授業単元】 上半身の歪みを知る① 【到達目標】 自身の上半身(肩・首など)の状態を知る		
2	【授業単元】 自身の体幹を知る 【到達目標】 自身の体幹を知り、矯正課題を見つける			10	【授業単元】 上半身の歪みを知る② 【到達目標】 自身の上半身(肩・首など)の状態に合わせて改善できる運動を行う		
3 小テスト 4点	【授業単元】 効果的な腹式呼吸を知る① 【到達目標】 腹式呼吸によって、コアマッスルを鍛えて有意性を理解する			11	【授業単元】 目覚めのピラティスを知る 【到達目標】 季節により、起床時の体調を改善できる運動を行う		
4	【授業単元】 効果的な腹式呼吸を知る② 【到達目標】 腹式呼吸によって、コアマッスルを鍛えて有意性を理解する			12 小テスト 4点	【授業単元】 下半身の疲れを取るピラティスを知る① 【到達目標】 第2の心臓と言われるふくらはぎを緊張緩和させる運動を行う		
5	【授業単元】 Cカーブを使った複式呼吸をできるようにする 【到達目標】 Cカーブでさらに効果的な腹式呼吸を行えるようにする			13 小テスト 4点	【授業単元】 下半身の疲れを取るピラティスを知る② 【到達目標】 大腿部を調整および疲労回復の運動を行う		
6 小テスト 4点	【授業単元】 正しい姿勢について知る① 【到達目標】 自身の姿勢を知り、課題を見つける			14	【授業単元】 重感&温感療法 【到達目標】 重い、温かいのイメージを持つことによる疲労回復を行う		
7	【授業単元】 正しい姿勢について知る② 【到達目標】 正しい姿勢を整えることができるようにする			15	【授業単元】 自身に一番必要な運動を行い、知識の再確認を行う 【到達目標】 運動の実践および知識の確認を試験形式で行う		
8	【授業単元】 背骨の積み上げについて知る 【到達目標】 ストレッチを行うことによって、中心格である背骨の矯正を行う			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	桐谷 裕子
学科・コース	トータルビューティー科	授業形 態	実習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時間	水曜日、金曜日 1、2、3、4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
ファッションショー、スチール、ブライダル等の仕事の実績を活かしクリエイティブなヘアメイクを意識したスタイルを習得しながら、基礎技術の向上を目指しクオリティーの高いヘアメイクができるようになる							
【授業を通じての到達目標】							
年代別のファッションの歴史を知ることにより、現代の技術との関連性や、ヘアメイクのテストを習得する事ができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
スタイリング剤				ヘアメイクやファッションを中心のスクラップブックを作る			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 30～40年代のヘアを学ぶ事により、ウェーブの技術や逆毛の 技術を身に付ける事ができる			9	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 80年代のヘアを学ぶ事によりウェーブのバリエーションの技術を習得出来る		
2	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 30～40年代のヘアを学ぶ事により、ウェーブの技術や逆毛の 技術を身に付ける事ができる			10	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンセプトシートを描く事で作成するヘアメイクデザインのイメージを具体化する事ができる		
3	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 50年代のヘアを学ぶ事により、夜会スタイルとボンパなどの逆毛 を使用したクラシカルなスタイルを習得できる			11	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンセプトシートのイメージを形にしながら、完成度を高めていく		
4	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 50年代のヘアを学ぶ事により、夜会スタイルとボンパなどの逆毛 を使用したクラシカルなスタイルを習得できる			12	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 イメージ通りの作品をタイム内に完成する事ができる		
5	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 60年代のヘアを学ぶ事によりビックヘアの作り込みを学び、コンテストやショーなどに役立つスタイルが作成できるようになる			13	【授業単元】 コンテストフィードバック 【到達目標】 コンテストでの作品を再度見直す事により、更なる作成のクオリティーを上げる事ができる		
6	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 60年代のヘアを学ぶ事によりビックヘアの作り込みを学び、コンテストやショーなどに役立つスタイルが作成できるようになる			14	【授業単元】 中間テスト練習 【到達目標】 テストの内容を確認しながら練習する事により、テストの完成度を高める事ができる		
7	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 70年代のヘアを学ぶ事によりボヘミアンスタイルのテストを知 る事ができ、編み込みのバリエーションを習得出来る			15	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 テスト練習での内容を時間内に仕上げる		
8	【授業単元】 年代別ヘアメイク 【到達目標】 70年代のヘアを学ぶ事により、ボヘミアンスタイルのテストを知る事ができ、編み込みのバリエーションを習得出来る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法			
【特記事項】							

科目名 (英)	舞台メイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	長濱 智光
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、舞台等のリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも特に舞台・キャラクターに特化した授業を行う。 講師経歴:美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。アートディレクターとしても活躍している。							
【授業を通じての到達目標】							
舞台メイク基礎を学ぶ							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 舞台メイク教材基礎知識 【到達目標】 発汗に強いベース作り			9	【授業単元】 舞台メイクとボディペインティング 【到達目標】 舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ ボディーアートを融合させる		
2	【授業単元】 ベース作り 【到達目標】 ベース作り～立体感・陰影作り			10	【授業単元】 舞台メイクとボディペインティングⅡ 【到達目標】 舞台メイク基礎で学んだ技術を取り入れ ボディーアートを融合させ仕上げる		
3	【授業単元】 小テスト(5点満点) ベース作り 【到達目標】 ベース作り～完成まで			11	【授業単元】 舞台メイク応用 【到達目標】 舞台メイクを応用させ、実践する		
4	【授業単元】 ポイントメイク基礎Ⅰ 【到達目標】 ポイントメイクの基礎をおさえる			12	【授業単元】 キャラクターメイク 【到達目標】 キャラクターメイクに特化して学ぶ		
5	【授業単元】 ポイントメイク基礎Ⅱ 【到達目標】 ポイントメイクの基礎を実践する			13	【授業単元】 作品づくり 【到達目標】 定期試験に向けての作品作り		
6	【授業単元】 小テスト(5点満点) 舞台映えメイク 【到達目標】 全体のバランスを考慮し、舞台上で映えるメイク完成			14	【授業単元】 作品づくりⅡ 【到達目標】 定期試験に向けての作品作り		
7	【授業単元】 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 相モデルで時間内に完成させる			15	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 舞台メイク応用で学んで技術を生かし ボディーアートを取り入れ、作品を仕上げる		
8	【授業単元】 ボディペインティング 【到達目標】 ボディペインティング教材基礎知識 ボディアート実技			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	スチールヘアメイク	必修選 択	必修	年次	2	担当教員	東村 忠明
		授業形 態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ここまで学習した基礎、並行して学ぶ応用も含め、どの様に実践現場で活用していくかを学びます。 既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れて実習します。 講師経歴：美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。 自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とします。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(Pinterest等)を利用し、ジャンル別にヘア、メイクビジュアルをまとめ、同時に様々なカルチャーや素材、質感など自分の好みを見つけフォルダリングしていく。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			9	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク B 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。		
2	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			10	【授業単元】 スタジオワークA 【到達目標】 個人用作品の充実を図る。		
3	【授業単元】 イメージヘアメイク① A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			11	【授業単元】 スタジオワークB 【到達目標】 個人作品の充実を図る。		
4	【授業単元】 イメージヘアメイク① B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			12	【授業単元】 ファッションヘアメイク A 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
5	【授業単元】 イメージヘアメイク② A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			13	【授業単元】 ファッションヘアメイク B 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
6	【授業単元】 イメージヘアメイク② B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			14	【授業単元】 テスト練習 AB合同 【到達目標】 ムードボードを作成しプレゼンができる様にする。 テストに向けた事前リハを行い完成度を高める。		
7	【授業単元】 中間テスト ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。			15	【授業単元】 定期試験 AB合同 【到達目標】 テーマに合わせ、ヘアメイクを総合的に見る。		
8	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク A 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。			【評価について】 #小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 #評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) #評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	学内コンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 集中
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する 作品の製作だけではなく発表の場(ヘアショー)の企画運営についても学ぶ							
【授業を通じての到達目標】							
設定されたテーマに沿ったヘアメイクを施し作品を表現する またヘアショーの運営についても理解する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
コンセプトシート:配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ・コンセプト作成及び仕込み ・舞台設営・設定 【到達目標】 ・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げることができる ・舞台演出計画を立てる(音楽、照明、動き) ・ゲネプロ(予行演習)の実施			9	11～15回 【授業単元】 コンテスト発表 【到達目標】 ・コンセプトシートを基に似合わせメイクを施す ・制限時間内で仕上げることができる ・ヘアショー演出評価を受ける 【評価】 審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする		
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対してお直しのメイクアップ・ヘアセットをする							
【授業を通じての到達目標】							
お客様に合わせて、お直しのヘアセットを短時間ですることができる チームでの仕事ができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ヘアメイク練習 【到達目標】 ・メイクアップが完了したお客様に制限時間内でヘアメイクを行うことができる ・コミュニケーションをとりながら気持ちのよい接客をすることができる ・チーム連携が取れるようになる			9	11～15回 【授業単元】 お客様に対してのお直し 【到達目標】 ・制限時間内にヘアメイクができるようになる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ビューティアドバイザーメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	関 亜沙美
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	3セメスター 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクアップに携わる者として必要な化粧品・メイクアップの起源や歴史を調べ学び、近現代に於ける時代背景と流行ったメイクアップ、また様々な出来事や風俗、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画やその時代を代表する人物を知り、各時代の雰囲気をつ捉えた上で知識とメイクアップテクニックを身につける。 経歴:化粧品会社のインストラクター、美容部員の教育、プロヘアメイクスクールの講師を務める							
【授業を通じての到達目標】							
化粧の起源や各時代の時代背景、メイクアップの流行を把握し現場に出る前の基礎知識を身につける。また1年生で学び修得してきた基本的なパーツメイクの組み合わせを 駆使し、応用させて1920年、1950年、1960年、1970年、各年代の流行のメイクアップパターンを理解し左右対称に仕上げ、テクニックを向上させる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
メイク道具一式 筆記用具 年代別メイク専用ファイル				各年代に於ける時代背景や出来事、流行のメイクアップ、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画、人物など興味のある分野のレポート作成			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップを理解、把握する ※レポート発表、提出 【到達目標】 化粧品、メイクアップの起源 クレオパトラからベル・エポックまでの時代背景と流行のメイクアップなどのレク 各時代の映画鑑賞 感想文記入、提出			8	【授業単元】1960年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解、把握する ※レポート発表、提出 【到達目標】 1960年代の時代背景と出来事、流行のメイクアップやファッション、ヘアスタイル、その時代を代表する人物などのレクチャー 映画鑑賞 感想文記入、提出		
2	1920年代～1930年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する ※レポート発表、提出 【到達目標】 1920年代～1930年代の時代背景と出来事、流行のメイクアップやファッション、ヘアスタイル、その時代を代表する人物などのレクチャー 映画鑑賞 感想文記入、提出			9	【授業単元】1960年代の流行のメイクアップテクニックを理解、把握する 【到達目標】 1960年代の流行のメイクアップのデモンストレーションを確実に見聞し、自分が独りでも行えるように工程や方法、コツを的確に書き取り、それを元にフェイスチャートを作成する		
3	【授業単元】1920年代～1930年代の流行のメイクアップテクニックを理解、把握する 【到達目標】 1920年代～1930年代の流行のメイクアップのデモンストレーションを 確実に見聞し自分が独りでも行えるように工程や方法、コツを的確に書き取り、それを元にフェイスチャートを作成する			10	【授業単元】1960年代の流行のメイクアップテクニックを身につける 【到達目標】 9回目の授業で行ったデモンストレーションの書き取り、フェイスチャートを元に1960年代のメイクアップパターンを50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる		
4	【授業単元】1920年代～1930年代のメイクアップテクニックを身につける 【到達目標】 3回目の授業で行ったデモンストレーションの書き取り、フェイスチャートを元に1920年代のメイクアップパターンを50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる			11	【授業単元】1970年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解、把握する ※レポート発表、提出 【到達目標】 1970年代の時代背景と出来事、流行のメイクアップやファッション、ヘアスタイル、その時代を代表する人物などのレクチャー 映画鑑賞 感想文記入、提出		
5	【授業単元】1950年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解、把握する ※レポート発表、提出 【到達目標】 1950年代の時代背景と出来事、流行のメイクアップやファッション、ヘアスタイル、その時代を代表する人物などのレクチャー 映画鑑賞 感想文記入、提出			12	【授業単元】1970年代の流行のメイクアップテクニックを理解、把握する 【到達目標】 1970年代の流行のメイクアップのデモンストレーションを確実に見聞し、自分が独りでも行えるように工程や方法、コツを的確に書き取り、それを元にフェイスチャートを作成する		
6	【授業単元】1950年代の流行のメイクアップテクニックを理解、把握する 【到達目標】 1950年代の流行のメイクアップのデモンストレーションを確実に見聞し、自分が独りでも行えるように工程や方法、コツを的確に書き取り、それを元にフェイスチャートを作成する			13	【授業単元】1970年代の流行のメイクアップテクニックを身につける 【到達目標】 12回目の授業で行ったデモンストレーションの書き取り、フェイスチャートを元に1970年代のメイクアップパターンを50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる		
7	【授業単元】1950年代の流行のメイクアップテクニックを身につける 【到達目標】 6回目の授業で行ったデモンストレーションの書き取り、フェイスチャートを元に1950年代のメイクアップパターンを50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる			14	【授業単元】1950年代の流行のメイクアップの2パターンのテクニックをしっかりと身につける 【到達目標】 1950年代の流行のメイクアップの2パターンを50分間で半顔づつ完璧に仕上げる。アイブロウやダブルライン、アイライン、リップの違いをしっかりと理解し表現する		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点) 不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】1970年代の流行のメイクアップパターンのフェイスチャートを作成し、50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる 【到達目標】 1970年代の流行のメイクアップパターンのフェイスチャートを作成し、50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げ、パターンとテクニックの理解度を確認する。退廃的雰囲気、グラデーションが表現できているか		
				【特記事項】			

科目名 (英)	スキンケアタッチアップ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科 ビューティアドバイザー分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
4タイプの肌質を診断して、肌悩みを改善し、望む肌へと導ける。スキンケアカウンセリングを実技できる							
【授業を通じての到達目標】							
視診・問診・触診で肌悩みを改善し、なりたい肌を実現できるスキンケアカウンセリングを5分間で実技できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、配布プリント用ファイル							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 表皮・真皮・皮下組織の図を理解する① 【到達目標】 表皮・真皮・皮下組織の図を模写し、それぞれの名称、働きを覚える			8	【授業単元】 相モデルでお互いの肌をカウンセリングする② 【到達目標】 スキンタイプ別、トラブルスキン別の特徴・問題点・改善点を知る		
2	【授業単元】 表皮・真皮・皮下組織の図を理解する② 【到達目標】 表皮・真皮・皮下組織の図を模写し、それぞれの名称、働きを覚える			9	【授業単元】 ドライスキンの肌状態・問題点・改善点を説明する① 【到達目標】 おすすめアイテム、使用法、クロージングができるようになる		
3	【授業単元】 スキンケアのカテゴリー商品を説明できる① 【到達目標】 クレンジング、洗顔、化粧水、乳液、美容液、クリームの種類、目的、効果を説明できるようになる			10	【授業単元】 ドライスキンの肌状態・問題点・改善点を説明する② 【到達目標】 おすすめアイテム、使用法、クロージングができるようになる		
4	【授業単元】 スキンケアのカテゴリー商品を説明できる② 【到達目標】 クレンジング、洗顔、化粧水、乳液、美容液、クリームの種類、目的、効果を説明できるようになる			11	【授業単元】 オイリースキンの肌状態、問題点・改善点を説明する① 【到達目標】 おすすめアイテム、使用法、クロージングができるようになる		
5	【授業単元】 健康な肌の状態を理解できる① 【到達目標】 自分の肌を視診、問診、触診できるようになる			12	【授業単元】 オイリースキンの肌状態、問題点・改善点を説明する② 【到達目標】 おすすめアイテム、使用法、クロージングができるようになる		
6	【授業単元】 健康な肌の状態を理解できる② 【到達目標】 自分の肌を視診、問診、触診できるようになる			13	【授業単元】 肌タイプによるカウンセリングを行う① 【到達目標】 5分間で視診、問診、触診によるカウンセリングを行えるようになる		
7	【授業単元】 相モデルでお互いの肌をカウンセリングする① 【到達目標】 スキンタイプ別、トラブルスキン別の特徴・問題点・改善点を知る			14	【授業単元】 肌タイプによるカウンセリングを行う② 【到達目標】 5分間で視診、問診、触診によるカウンセリングを行えるようになる		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点) 不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 学んだ知識を基にした肌タイプ別カウンセリングを行えるようになる		
				【特記事項】			

科目名 (英)	メイクアッププロデュース	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	秋本　いくみ
		授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース		2年生　ビューティアドバイザー分野					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクスキルを必要とする化粧品ブランドでメイクアーティストを経て、現在バックステージ、ブライダル、広告、CMのヘアメイクとして活動する講師が、BAとして、販売に必要な製品の提案力を身に付ける指導を行う。アイテムの使い方、モデルに合わせた色、製品の選び方をメイク実践行いながら学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
BAとして幅広い、年齢層、人種、肌色、骨格、その方の悩みが解決出来るようにメイクの提案力、その方にあった製品の選び方、タッチアップの技術を身に付ける事が出来る！							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授　業　概　要			回	授　業　概　要		
1	【授業単元】 ベースメイクの復習、FDの選び方 AWのトレンド肌、SSのトレンド肌 【到達目標】 メイクの中で重要なベースメイクのポイントを改めて抑えて、ベースメイクを綺麗に作れるようになる！			1	【授業単元】 顔の分析、目元のバランスの見方、タッチアップ 【到達目標】 目の縦に幅、横幅のバランスの取り方を学び、モデルに合ったアイメイクが出来るようになる。		
2	【授業単元】 一人一人に合わせたシェーディング、ハイライトの入れ方、完成させた時に現実的で近くで見ても自然な仕上がりを作る。 【到達目標】 骨格に合わせたコントアリングメイクが出来るようになる。			2	【授業単元】 モデルの肌色に合わせた影を入れる深みのアイメイク 【到達目標】 モデルの肌色、使う色のコントラストを考えながらアイメイクが出来るようになる。		
3	【授業単元】 描きすぎないアイブロウ、完璧なアイシャドウグラデーションを完成させる。 【到達目標】 スモーキーEYEで完璧なブレンドしたアイシャドウが作れるようになる！			3	【授業単元】 カバーが必要な肌をいかにシンプルに、重たく見せないように仕上げる 【到達目標】 トラブル肌への透明感のあるベースメイクを作れるようになる。		
4	【授業単元】 ヘースメイクで肌の欠点を無くして、ハートフェクトなLIPノオー刀メイクを行う！(ツヤ肌) 【到達目標】 綺麗な肌作りと、リップをフォーカスしたメイクが出来るようになる。			4	【授業単元】 肌作り、カラーメイクを行う 【到達目標】 トレンドの肌作りと、カラーを使ったメイクが出来るようになる。		
5	【授業単元】 パーフェクトなベースメイク、アイシャドウ、LIPを作り込む！(マット肌) 【到達目標】 綺麗な肌作り、アイシャドウのグラデーション、LIPメイクが出来るようになる。			5	【授業単元】 アイブロウ、ビューラー、マスカラ、細かいテクニックを行う。 【到達目標】 すっぴん風メイクが出来るようになる。		
6	【授業単元】 カラーを使ったトレンドメイクを行う！ <u>【●●点】</u> 【到達目標】 反対色メイクのバランスを提案出来るようになる。			6	【授業単元】 眉毛と、LIPにフォーカスをおいたメイクを行う。 【到達目標】 モデル、お客様のニーズに沿った提案が出来るように、製品にフォーカスをしたメイクが出来るようになる。		
7	【授業単元】 定期試験 <u>【60点】</u> 【到達目標】 50分間　モデルに似合う春夏メイクを行う。 ベースメイク、カラーバランス、トレンドのチェック。			7	【授業単元】 すっぴん風メイク総仕上げ <u>【●●点】</u> 【到達目標】 モデルの肌に合わせたベースメイク、肌色に合わせたカラー使いですっぴんに近いナチュラルメイクが出来るようになる。		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点)不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				8	【授業単元】 定期テスト <u>【60点】</u> 【到達目標】 40分間でモデルの骨格、肌色に合わせたすっぴん風メイクが出来るようになる。		
				【特記事項】			

科目名 (英)	コスメティック研究演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	深井ルミ
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 2単位	開講区分	前期
学科・コーストータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野						曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
お客様に対し適切な商品選択ができるために代表的な化粧品の訴求成分とその働きや効果について理解する。そして化粧品にとどまらず幅広い知識が持てるように美容医療についても理解する。 ※BA経験と、10年以上化粧品メーカーのコンサルティングと化粧品開発に携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
代表的な訴求成分の効果と働きを修得する。肌トラブルに対しての様々な美容医療施術についての知識を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業説明・化粧品、医薬部外品、薬用化粧品の区別・保湿成分 【到達目標】 授業内容・目標を理解する 化粧品、医薬部外品、薬用化粧品の違いを理解する 保湿成分の種類と特徴、働きを理解する。			8	【授業単元】 医療美容について 【到達目標】 医療美容についての予備知識、導入施術、レーザー・光治療、高周波、超音波についてを理解する。		
2	【授業単元】 美白成分 その1 【到達目標】 美白成分の種類と特徴、働きを理解する。			9	【授業単元】 肌悩みと施術 ニキビ 赤ら顔・頬の赤み 【到達目標】 ニキビ 赤ら顔・頬の赤みに適した施術を理解する		
3	【授業単元】 美白成分 その2 【到達目標】 美白成分の種類と特徴、働きを理解する。			10	【授業単元】 肌悩みと施術 毛穴・ニキビ跡 【到達目標】 毛穴・ニキビ跡に適した施術を理解する		
4	【授業単元】 ピーリング成分 【到達目標】 ピーリング成分の種類と特徴、働きを理解する。			11	【授業単元】 肌悩みと施術 【到達目標】 シミ・くすみに適した施術を理解する		
5	【授業単元】 ハリ・弾力成分 【到達目標】 ハリ・弾力成分の種類と特徴、働きを理解する。			12	【授業単元】 肌悩みと施術 シワ 【到達目標】 シワに適した施術を理解する		
6	【授業単元】 抗酸化成分 【到達目標】 抗酸化成分の種類と特徴、働きを理解する。			13	【授業単元】 肌悩みと施術 たるみ 【到達目標】 たるみに適した施術を理解する		
7	【授業単元】 定期試験 筆記 【到達目標】 訴求成分の特徴、働きを理解しているか、成分名と特徴を振り分けることができる。			14	【授業単元】 肌悩みと施術 顔痩せ 切らない美容整形 【到達目標】 顔痩せに適した施術を理解する。切らない美容整形について理解する		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点)不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】 定期試験 筆記 【到達目標】 様々な肌悩みに対して、適切な医療美容の施術を答えることができる。		
				【特記事項】			

科目名 (英)	栄養学&サプリメント	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	3セメスター
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
コスメブランド商品を使用しホームケアの方法、セルフケアなどを学ぶ。接客において様々な視点からお客様方にホームケアアドバイスをを行う							
【授業を通じての到達目標】							
美容コスメを使用し、商品について理解を深める。ダイエット、食事、運動、セルフマッサージ、美肌ケアなどを学び、セルフケアが出来るようになる。またお客様などへのアドバイスできる知識を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ボディチェック(BMI、目標体重、サイズなど)について ボディ用コスメブランドの商品を調べる 【到達目標】 美容における理想の体型などを知る (BMI、カロリー、基礎代謝)			8	【授業単元】 肌チェック、ケア方法について 【到達目標】 スキンスキャナーなどを使用して肌の状態を理解し、ケア方法を見直す		
2	【授業単元】 ダイエット(食事)について ボディ用スリミング化粧品のついて 【到達目標】 ダイエット(食事)について理解する。また、ボディ用スリミング化粧品の使用方法を学ぶ			9	【授業単元】 フェイシャル美容機器について 【到達目標】 スチーマーを使用してクレンジング、吸引、マッサージが出来るようになる		
3	【授業単元】 ダイエット(推奨運動)について マッサージ、ケア方法について 【到達目標】 ダイエット(運動)について理解する。また、セルフマッサージ方法を学ぶ			10	【授業単元】 フェイシャルゴマージュ、パック 【到達目標】 ゴマージュ材やパックを使用してケアが出来るようになる		
4	【授業単元】 ハンドマッサージ 【到達目標】 マッサージ料を使用し相モデルでハンドマッサージが出来るようになる			11	【授業単元】 美容ドリンク 【到達目標】 美容ドリンクについて理解する		
5	【授業単元】 ヘッドマッサージ 【到達目標】 マッサージ料を使用し相モデルでヘッドマッサージが出来るようになる			12	【授業単元】 フレグランス 【到達目標】 フレグランスについて理解する		
6	【授業単元】 ハンドマッサージ、ヘッドマッサージ 【到達目標】 ケアを行いながら商品やセルフケアの説明ができるようになる			13	【授業単元】 ボディケア、フェイシャルケア 【到達目標】 悩みに合わせたケアを行い効果を実感する		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 ハンドマッサージ、ヘッドマッサージ			14	【授業単元】 ボディケア、フェイシャルケア 【到達目標】 悩みに合わせたケアを行い効果を実感する		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点)不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 ボディケア、フェイシャルケア		
				【特記事項】			

科目名 (英)	学内コンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 集中
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する 作品の製作だけではなく発表の場(ヘアショー)の企画運営についても学ぶ							
【授業を通じての到達目標】							
設定されたテーマに沿ったヘアメイクを施し作品を表現する またヘアショーの運営についても理解する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
コンセプトシート:配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ・コンセプト作成及び仕込み ・舞台設営・設定 【到達目標】 ・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げるができる ・舞台演出計画を立てる(音楽、照明、動き) ・ゲネプロ(予行演習)の実施			9	11～15回 【授業単元】 コンテスト発表 【到達目標】 ・コンセプトシートを基に似合わせメイクを施す ・制限時間内で仕上げるができる ・ヘアショー演出評価を受ける 【評価】 審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする		
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対してお直しのメイクアップ・ヘアセットをする							
【授業を通じての到達目標】							
お客様に合わせて、お直しのヘアセットを短時間ですることができる チームでの仕事ができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ヘアメイク練習 【到達目標】 ・メイクアップが完了したお客様に制限時間内でヘアメイクを行うことができる ・コミュニケーションをとりながら気持ちのよい接客をすることができる ・チーム連携が取れるようになる			9	11～15回 【授業単元】 お客様に対してのお直し 【到達目標】 ・制限時間内にヘアメイクができるようになる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	フェイシャル実技	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤麻代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日本エステティック業協会(AEA)、日本エステティック協会(AJESTHE)の資格について理解し、実技試験に合格するための技術、知識を身につける ※AEA上級認定エステティシャン及びAJESTHE上級認定エステティシャンの各協会の試験官としての資格を持ち、専門学校内だけでなく一般受験者の試験官 も行う							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定エステティシャン及びAJESTHE上級認定エステティシャン実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
AEA教科書・AJESTHE教科書							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 AEA上級認定エステティシャン資格試験内容について 【到達目標】 クレンジング～ディープクレンジング～マッサージ～パック の一連のがスムーズにできるようになる			9	【授業単元】 AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～ディープクレンジング～電気機器～マッサージの流れ がスムーズにできるようになる		
2	【授業単元】 AEA上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジングについて 口頭試問を含めてスムーズにできるようになる			10	【授業単元】 AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～電気機 器について口頭試問を含めてスムーズにできるようになる		
3	【授業単元】 AEA上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～マッ サージ～パックの一連の流れがスムーズにできるようになる			11	【授業単元】 AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～マッサージ～パックの流れがス ムーズにできるようになる		
4	【授業単元】 AEA上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～マッ サージ～のテクニック及び口頭試問(ホームケアアドバイス)がで きるようになる			12	【授業単元】 AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～電気機 器～マッサージ～パックの一連の流れがスムーズにできるようにな る		
5	【授業単元】 AEA上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～マッ サージ～パック及び口頭試問ができるようになる			13	【授業単元】 AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～電気機 器～マッサージ～パック及び口頭試問ができるようになる		
6	【授業単元】 AEA上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～マッ サージ ～パック及び口頭試問ができるようになる			14	【授業単元】 AJESTHE上級認定エステティシャン実技試験内容 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～電気機 器～マッサージ～パック及び口頭試問ができるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト (AEA実技試験:6／14) 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～マッ サージ ～パッカー連の流れ			15	【授業単元】 定期テスト (AJESTHE実技試験:9／17, 18) 【到達目標】 クレンジング～コンサルテーション～ディープクレンジング～電気機 器～マッサージ～パッカー連の流れ		
8	【授業単元】 AJESTHE上級認定エステティシャン試験内容 について 電気機器2種復習 【到達目標】 クレンジング～電気機器(2種)の技術の復習、及び口頭試問がで きるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69 点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ボディ実技	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小池／福岡
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	3セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国内外のエステティックの資格を有する講師が、AEAボディ試験合格のためにボディトリートメントの基本の再確認する授業を行う。機器の使用方法を習得し、日本エステティック協会上級認定エステティシャン実技試験の合格レベルまで到達させる。さらにプロのエステティシャンを目指し応用力(お客様のお悩みに適したコンサルテーション)を身に付ける授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
AEAボディ実技試験を理解し、コンサルテーション、ボディマッサージが合格レベルまで達する 日本エステティック協会上級認定エステティシャン実技試験を理解し、機器、コンサルテーション、ボディマッサージが合格レベルに達する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
日本エステティック協会実技教本、プリント(適宜配布)				マッサージの手順を覚える			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 AEAボディ実技試験について 【到達目標】 ボディトリートメントをテキストを見ずに行なえる			9	【授業単元】 機器トリートメントについて 【到達目標】 低周波、G5、サクションを行うことができる		
2	【授業単元】 AEAボディ実技試験について 【到達目標】 コンサルテーションシートの記入方法を理解できる			10	【授業単元】 コンサルテーションについて 【到達目標】 クライアントに適した機器を選択し、行うことができる		
3	【授業単元】 AEAボディ実技試験について 【到達目標】 AEAボディ試験の規定時間内に終了できる			11	【授業単元】 上級認定エステティシャン実技試験について 【到達目標】 上級認定エステティシャン実技試験の流れを規定時間内に行う		
4	【授業単元】 AEAボディ実技試験について 【到達目標】 コンサルテーションを規定時間内に終了できる			12	【授業単元】 上級認定エステティシャン実技試験について 【到達目標】 上級認定エステティシャン実技試験の流れを規定時間内に行う		
5	【授業単元】 AEAボディ実技試験について 【到達目標】 AEAボディ実技試験の流れを規定時間内に終了できる			13	【授業単元】 上級認定エステティシャン実技試験について 【到達目標】 上級認定エステティシャン実技試験の流れを規定時間内に行う		
6	【授業単元】 AEAボディ実技試験について 【到達目標】 AEAボディ実技試験の流れを規定時間内に終了し口頭試問に答えることができる。			14	【授業単元】 上級認定エステティシャン実技試験について 【到達目標】 上級認定エステティシャン実技試験の流れを規定時間内に行う		
7	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 AEAボディ実技試験の流れを規定時間内に終了し口頭試問に答えることができる。			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 上級認定エステティシャン実技試験の流れを規定時間内に行う		
8	【授業単元】 低周波について 【到達目標】 低周波について理解し、使用することができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	美容脱毛	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐野 みゆき
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	3セメスター
学科・コース						曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
AJESTHE上級認定試験科目であるワックス脱毛理論と技術を習得する							
【授業を通じての到達目標】							
ワックス脱毛の知識と技術が試験に合格ができるレベルまで身につける							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
新エステティック学 技術編Ⅰ							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 脱毛理論① 【到達目標】 体毛の役割、毛の構造、毛を構成する成分、毛の発生のメカニズムについて理解する			9	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践(上肢) 【到達目標】 前回同様毛の流れを把握し上肢のワックス脱毛が確実に連続してできるようになる		
2	【授業単元】 脱毛実技での準備、使用備品 【到達目標】 ワックス脱毛技術においての準備、使用備品の取り扱いについて理解する			10	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践 【到達目標】 肘や膝の関節部位のワックス脱毛ができるようになる		
3	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践 【到達目標】 ワックス塗布とはがし方について実践し習得する			11	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践 【到達目標】 時間内に効率的に下肢及び上肢の脱毛ができるようになる		
4	【授業単元】 脱毛理論② 【到達目標】 体毛の種類、体毛とホルモンの関係、ムダ毛処理方法について学習し理解する			12	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践 【到達目標】 時間内に効率的に下肢及び上肢の脱毛を実施しはがし残しが内容正確性を高めた技術ができるようになる		
5	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践(下肢) 【到達目標】 下肢部位にワックス塗布とはがし方を確実に連続してできるようになる			13	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践 【到達目標】 これまでに学習した理論についてワックス脱毛を行いながら質問に答えられるようになる		
6	【授業単元】 脱毛理論③/ワックス脱毛技術実践(下肢) 【到達目標】 ワックス剤、プレケア、アフターケアの粧材成分を学習し理解する 下肢部位にワックス塗布とはがし方を確実に連続してできるようにな			14	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践 【到達目標】 これまでに学習した理論についてワックス脱毛を行いながら質問に答えられるようになる		
7	【授業単元】 筆記試験/実技試験 【到達目標】 第6回までに学習したワックス脱毛理論と下肢部位のワックス脱毛実技の範囲を試験し合格レベルまで到達できるようになる			15	【授業単元】 実技試験 【到達目標】 資格試験と同様の方法でワックス脱毛技術とワックス脱毛の理論について試験を行い時間内に合格レベルまで到達できるようになる		
8	【授業単元】 ワックス脱毛技術実践(上肢) 【到達目標】 毛の流れを把握し上肢の脱毛が出来るようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	カラーセラピー	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤麻代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	3セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野						2
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
生活の中やサロンワークなどでもアロマセラピーは一般的に広く活用されています。アロマセラピーを安全により効果的に活用するためにアロマセラピーの基本を学び、エステティシャン、セラピストとしての知識をの幅を広げ、身につける。 ※サロンワークにてアロマを使ったマッサージ等を行う。また地域でアロマクラフトの講座やアロマを使ったボランティア活動などにも携わる							
【授業を通じての到達目標】							
カラーセラピーの基礎や本質を知り、現場で活かせる知識、技術、感性を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
カラーペン、ファイル、プリント							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 カラーセラピー基礎知識 【到達目標】 カラーセラピストとは何かを知る			9	【授業単元】 オーラソーマ式カラーセラピー 【到達目標】 オーラソーマ式カラーセラピーを知る		
2	【授業単元】 カラーセラピー基礎知識 【到達目標】 カラーセラピストとは何かを知る			10	【授業単元】 オーラソーマ式カラーセラピー 【到達目標】 オーラソーマ式カラーセラピーを知る		
3	【授業単元】 カラーセラピー基礎知識 【到達目標】 カラーセラピストとは何かを知る			11	【授業単元】 オーラソーマ式カラーセラピー 【到達目標】 オーラソーマ式カラーセラピーを知る		
4	【授業単元】 カラーセラピー基礎知識 【到達目標】 カラーセラピストとは何かを知る			12	【授業単元】 オーラソーマ式カラーセラピー 【到達目標】 オーラソーマ式カラーセラピーを知る		
5	【授業単元】 カラーワーク 【到達目標】 各色のもつ基本を知り、現場で活かす方法を知る			13	【授業単元】 癒しの手をつくるポイント 【到達目標】 癒しの手をつくる方法を理解して活用できるようになる		
6	【授業単元】 カラーワーク 【到達目標】 各色のもつ基本を知り、現場で活かす方法を知る			14	【授業単元】 癒しの手をつくるポイント 【到達目標】 癒しの手をつくる方法を理解して活用できるようになる		
7	【授業単元】 カラーワーク 【到達目標】 各色のもつ基本を知り、現場で活かす方法を知る			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 ここまで学んだ知識・技術を確認する		
8	【授業単元】 カラーワーク 【到達目標】 各色のもつ基本を知り、現場で活かす方法を知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	AEA検定対策	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小池 千絵
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	3セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野				2	曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国内外のエステティックの資格を有する講師が、AEA上級実技試験・日本エステティック協会上級認定エステティシャン資格取得のために弱点の強化を図り合格レベル達する技術を身につけさせる授業を行なう							
【授業を通じての到達目標】							
フェイシャル・ボディ・ネイル・メイクの弱点を強化し、AEA上級実技試験・日本エステティック協会上級認定エステティシャン資格取得できる技術力を身につける							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
日本エステティック協会実技教本、プリント(適宜配布)				マッサージの手順を覚える			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 フェイシャルトリートメントについて 【到達目標】 コンサルテーションシートを時間内に記入できるようになる			9	【授業単元】 ネイル・メイクについて 【到達目標】 ネイル・メイクの技術を時間内に終了できる		
2	【授業単元】 ボディトリートメントについて 【到達目標】 コンサルテーションシートを時間内に記入できるようになる			10	【授業単元】 脱毛について 【到達目標】 WAX脱毛を時間内に終了できる		
3	【授業単元】 フェイシャルトリートメントについて 【到達目標】 トリートメントを時間内に終了できるようになる			11	【授業単元】 フェイシャルトリートメントについて 【到達目標】 日本エステティック協会認定上級試験の流れを時間通りに行えるようになる		
4	【授業単元】 ボディトリートメントについて 【到達目標】 トリートメントを時間内に終了できるようになる			12	【授業単元】 ボディトリートメントについて 【到達目標】 日本エステティック協会認定上級試験の流れを時間通りに行えるようになる		
5	【授業単元】 フェイシャルトリートメントについて 【到達目標】 AEA上級試験の流れを時間通りに行えるようになる			13	【授業単元】 フェイシャルトリートメントについて 【到達目標】 日本エステティック協会認定上級試験の流れを時間通りに行えるようになる		
6	【授業単元】 ボディトリートメントについて 【到達目標】 AEA上級試験の流れを時間通りに行えるようになる			14	【授業単元】 ボディトリートメントについて 【到達目標】 日本エステティック協会認定上級試験の流れを時間通りに行えるようになる		
7	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 試験の流れを規定の時間内に行ない、口頭試問に答える			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 試験の流れを規定の時間内に行ない、口頭試問に答える		
8	【授業単元】 ネイル・メイクについて 【到達目標】 ネイル・メイクの技術を時間内に終了できる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	学内コンテスト	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白山 かがり
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時間	前期 集中
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、フェイシャル・ボディ様々な手技を組合わせてお客様に提供する							
【授業を通じての到達目標】							
自身が考案したメニューをお客様に合わせて提案することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 コンテストの規定の理解とお客様を想定した練習 【到達目標】 ・コンテストのテーマに沿って様々なお客様を想定してメニューの考案ができるようになる。			9	11～15回 【授業単元】 コンテスト 【到達目標】 ・コンサルテーションシートの記入～考案したメニューの提供～お見送りまでを一連の流れで行うことができる 【評価】 審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対してお直しのメイクアップ・ヘアセットをする							
【授業を通じての到達目標】							
お客様に合わせて、お直しのヘアセットを短時間ですることができる チームでの仕事ができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ヘアメイク練習 【到達目標】 ・メイクアップが完了したお客様に制限時間内でヘアメイクを行うことができる ・コミュニケーションをとりながら気持ちのよい接客をすることができる ・チーム連携が取れるようになる			9	11～15回 【授業単元】 お客様に対してのお直し 【到達目標】 ・制限時間内にヘアメイクができるようになる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	キャリア講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤・坂松・石渡・中村
学科・コース	トータルビューティ科 全分野共通	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	4セメスター 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
卒業までに社会人になるための準備をし、内定期間からのソフトライディング準備行う。※美容業界に従事経験のある担任によるキャリア教育							
【授業を通じての到達目標】							
現場に出る前の身構え・気構え・心構えを習得する事ができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
新社会人の基礎力・プリント							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 会社に入るメリットを理解する 【到達目標】 会社に属するメリットを知る事が出来る 会社員としての権利と義務を理解し、会社に属するメリットを知る事が出来る			8	【授業単元】 入社した会社でのキャリアの磨き方を知る 【到達目標】 入社した会社でのキャリア基礎の磨き方を知る事が出来る。キャリアプランを考えたとえて、会社での自分の役割を理解する事が出来る。		
2	【授業単元】 職場内でのトラブルへの対処方法と解雇について理解をする 【到達目標】 職場でのトラブルについて知り、その回避方法を知ることが出来る。 解雇の条件を知り、解雇になってしまう事例を知る事が出来る。			9	【授業単元】 入社式から新人研修までの期間の過ごし方を知る 【到達目標】 社会人になってからも自己研鑽をする考えを持ち、役職に関わらずさまざまな研修があることを知る		
3	【授業単元】 入社後の人事異動や出向・転籍について理解をする 【到達目標】 入社後の人事異動や、出向についての理解を深める事が出来る。また、出向での在籍の違いと転籍の違いを知る事が出来る			10	【授業単元】 キャリアパスとステップアップについて知る 【到達目標】 入社する会社のキャリアパスがどのようなものなのか知り、どのように役職や収入が得られるかを知る。		
4	【授業単元】 企業の福利厚生制度を理解する 【到達目標】 会社にある福利厚生を調べ、自身の働く環境について理解する事が出来る			11	【授業単元】 各種資格取得で得られるキャリア形成を知る 【到達目標】 各種資格を促進する会社が増えている事を知り、資格を持っている優位性について理解する事が出来る。キャリア形成するために今の自分自身との向き合う必要性を理解する事が出来る。		
5	【授業単元】 先輩や上司との接し方の基本を理解する事が出来る 【到達目標】 専属の上司との関係性を理解し、上司との円滑な付き合い方を理解する事が出来る			12	【授業単元】 社会人基礎力について知る 【到達目標】 社会人基礎力とは何かを考え、社会に求められる3つの能力と12の能力要素について理解する事が出来る。		
6	【授業単元】 顧客管理と取引先の大切さを知る事が出来る 【到達目標】 ビジネスの基本である顧客理解と消費者心理を知る事が出来る。また、顧客だけではなく会社での取引先との関係性の大切さを知る事が出来る。			13	【授業単元】 チームで働く力について知る 【到達目標】 チームで働くための傾聴力・柔軟性・規律力について理解する事が出来る。その上で社会に出た時のストレスコントロール力の必要性を理解する事が出来る。		
7	【授業単元】 確認テスト 【到達目標】 1回～6回の授業内容を確認し、テストを実施することで理解を深める事が出来る。			14	【授業単元】 社会に出るにあたっての決意を固める 【到達目標】 働く環境によって自分の取り巻く環境が変わる事を知る。また、社会人としての責任の重さを知る事が出来る。		
【評価について】				15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 1回目～7回目の授業内容を確認し、テストを実施することで理解を深める事が出来る。		
				【特記事項】			

科目名 (英)	ヘアメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堤 里海 久保周平
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜1, 2時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
卒業前半年となり、現場でのオーダーに応えられるよう実践的な技術を習得する 特に(ファッションショー・雑誌の撮影・ビューティアドバイスなど幅広く活躍)							
【授業を通じての到達目標】							
現場の要請に対応できるメイク技術を身につける 特に、テイスト別についての表現力を習得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 テイスト別メイク① 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			9	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(化粧品の質感について)知る		
2	【授業単元】 テイスト別メイク② 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			10	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(化粧品の色について)知る		
3	【授業単元】 テイスト別メイク③ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			11	【授業単元】 ショー作品作成に必要な知識をメイクをしながら得る 【到達目標】 ショー作品作成に必要な知識(ポイントメイクの形)知る		
4	【授業単元】 テイスト別メイク④ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			12	【授業単元】 テーマに対してメイクデザインをプランする 【到達目標】 テーマに対してどのようなデザインが効果的なのか知る		
5	【授業単元】 テイスト別メイク⑤ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			13	【授業単元】 まとめ 【到達目標】 1ー12回までの授業内容を復習し、確認する		
6	【授業単元】 テイスト別メイク⑥ 【到達目標】 テーマのテイストを表現するための質感、色、形を知る			14	【授業単元】 定期試験準備 【到達目標】 定期試験内容を知り、練習を行い、不明な点は確認し完成したものができるようになる		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】		
8	【授業単元】 ショーメイク 【到達目標】 ショー用のメイクの基本を知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	スチールヘアメイク	必修選 択	必修	年次	2	担当教員	東村 忠明
学科・コース	トータルビューティー科	授業形 態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ここまで学習した基礎、並行して学ぶ応用も含め、どの様に実践現場で活用していくかを学びます。 既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れて実習します。 講師経歴：美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。 自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得れる様なビジュアル作りを目標とします。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(Pinterest等)を利用し、ジャンル別にヘアー、メイクビジュアルをまとめ、同時に様々なカルチャーや素材、質感など自分の好みを見つけフォルダリングしていく。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションⅡA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			9	【授業単元】 クリエイティブヘアメイクⅡB 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。		
2	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションⅡB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			10	【授業単元】 スタジオワークⅡA 【到達目標】 個人用作品の充実を図る。		
3	【授業単元】 イメージヘアメイク①ⅡA 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			11	【授業単元】 スタジオワークⅡB 【到達目標】 個人作品の充実を図る。		
4	【授業単元】 イメージヘアメイク①ⅡB 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			12	【授業単元】 ファッションヘアメイクⅡA 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
5	【授業単元】 イメージヘアメイク②ⅡA 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			13	【授業単元】 ファッションヘアメイクⅡB 【到達目標】 ハイファッション、又はサブカルファッションのイメージをヘアメイクで表現出来る様にする。		
6	【授業単元】 イメージヘアメイク②ⅡB 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪の毛や肌の質感を表現出来るようにする。			14	【授業単元】 テスト練習AB合同 【到達目標】 ムードボードを作成しプレゼンができる様にする。 テストに向けた事前リハを行い完成度を高める。		
7	【授業単元】 中間テスト ビジュアルコピーヘアメイクⅡAB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。			15	【授業単元】 定期試験AB合同 【到達目標】 テーマに合わせ、ヘアメイクを総合的に見る。		
8	【授業単元】 クリエイティブヘアメイクⅡA 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。			【評価について】 #小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 #評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) #評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ファッションコーディネート	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	若井 りさ
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。 ※美術学科卒業後、広告宣伝業務や撮影業務に携わる。その中でファッションやコーディネートについての業務も実施。							
【授業を通じての到達目標】							
基本知識を活用し、トレンドをとり入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業概要理解 【到達目標】 ネクタイの結び方(2種)を体得する 授業概要を理解する			9	【授業単元】 黒い服と白い服② 【到達目標】 バランスをとる方法		
2	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。			10	【授業単元】 素材や機能性の知識を得る。 【到達目標】 ストリートを考えに入れたセレクト方法を理解する		
3	【授業単元】 小テスト(5点満点) 自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。			11	【授業単元】 ファッションマップを作成する① 【到達目標】 フェミニン(大人のエレガンス)、グリッター(キラキラ)、ファニー(奇妙な調和)をマップにおとしこむ。		
4	【授業単元】 帽子的正しいかぶり方 【到達目標】 ・帽子の種類(由来やかぶり方)			12	【授業単元】 ファッションマップを作成する② 【到達目標】 フェミニン(大人のエレガンス)、グリッター(キラキラ)、ファニー(奇妙な調和)をマップにおとしこむ。		
5	【授業単元】 クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】 シルエットを考察し、着方を発見する。			13	【授業単元】 4種のトレンドをまとめ、マップを作成する① 【到達目標】 意外性のある組あわせ、カラフル、大人モード、リズム感のあるトレンド		
6	【授業単元】 小テスト(5点満点) 新しい考え方のポイントを知る。 【到達目標】 ストリートファッション ユニバーサルデザインとは？ 新素材や形の扱い方			14	【授業単元】 4種のトレンドをまとめ、マップを作成する② 【到達目標】 意外性のある組あわせ、カラフル、大人モード、リズム感のあるトレンド		
7	【授業単元】 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 実技:ネクタイを結ぶ。コーディネート(課題は当日)			15	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 4種のトレンドマップを提出する。		
8	【授業単元】 黒い服と白い服① 【到達目標】 バランスをとる方法			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	特殊メイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	長濱 智光
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
普段、撮影や収録現場で制作会社や編集から言われるリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。 その中でも特に特殊メイクに特化した授業を行う。 講師経歴:美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。アートディレクターとしても活躍している。							
【授業を通じての到達目標】							
血のり等を利用し、特殊メイクを仕上げる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 特殊メイク基礎Ⅰ 【到達目標】 ・キズ、アザの基本・色・位置等 ・古傷の作成			9	【授業単元】 リクエストヘアメイクA 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
2	【授業単元】 特殊メイク基礎Ⅱ 【到達目標】 ・古傷の作製 完成まで ・火傷等			10	【授業単元】 リクエストヘアメイクA 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
3	【授業単元】 小テスト(5点満点) 特殊メイク基礎Ⅲ 【到達目標】 ・パター等を使用した立体的な傷			11	【授業単元】 リクエストヘアメイクB 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
4	【授業単元】 ドラマ・映画ヘアメイクⅠ 【到達目標】 映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ			12	【授業単元】 リクエストヘアメイクB 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
5	【授業単元】 ドラマ・映画ヘアメイクⅡ 【到達目標】 映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ			13	【授業単元】 リクエストヘアメイクC 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習。また3時限目はウィッグを使いブローでのスタイリングを実施。		
6	【授業単元】 小テスト(5点満点) イベントヘアメイクⅠ 【到達目標】 イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。			14	【授業単元】 1～13回目までの授業の振り返り授業 【到達目標】 ・1～13回目までの授業の振り返りを行い、理解をより高めることができる		
7	【授業単元】 中間テスト(20点満点) 【到達目標】 血のり等を使用し手早くリアルなキズを作る			15	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 ウィッグで特殊メイクを仕上げる		
8	【授業単元】 イベントヘアメイクⅡ 【到達目標】 イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	大井 弓子
学科・コース	トータルビューティー科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜 1・2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルヘアメイクになるために技術の向上・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身に付ける (ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の撮影・舞台など20年以上にわたり幅広く活躍)							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 復習①(ホットカーラー・夜会・タボアップ) 【到達目標】 1年時の技術を復習する ネープ部分のアレンジの違いを理解し作成する			9	【授業単元】 今どきスタイル 【到達目標】 ギブソンタック・ハーフアップ・ダウンスタイルの技術を習得・作成する		
2	【授業単元】 復習②(ロール・シニヨン・面カール) 【到達目標】 1年時の技術を復習する 髷部分のアレンジの違いを理解し作成する			10	【授業単元】 ブロー 【到達目標】 セットブロー・メンズヘアブローの技術を習得・作成する		
3	【授業単元】 ヘッドパーツ作り①(チュール) 【到達目標】 チュールのヘッドパーツを作成し、ヘアスタイルとのアレンジ・バランス感覚を習得する			11	【授業単元】 コンテスト作品試作 【到達目標】 コンテストに向けて作品の方向性を決めて試作を作成する		
4	【授業単元】 ヘッドパーツ作り②(造花) 【到達目標】 造花のヘッドパーツを作成し、ヘアスタイルとのアレンジ・バランス感覚を習得する			12	【授業単元】 コンテスト作品練習 【到達目標】 コンテスト作品を規定時間内に作成する		
5	【授業単元】 撮影試作 【到達目標】 5/28の撮影に向けて作品の方向性を決めて試作を作成する			13	【授業単元】 浴衣 【到達目標】 浴衣に合うヘアメイクを考え、着付けまでのトータルバランスを習得する		
6	【授業単元】 撮影 【到達目標】 これまでの授業で作成したヘッドパーツを使用し、作品撮りをする			14	【授業単元】 スチール撮影作品試作 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品の方向性を決めて試作を作成する		
7	【授業単元】 復習③ 【到達目標】 基礎技術を思い出しヘアスタイルをアレンジ作成する			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 スチール撮影作品をを規定時間内に作成する		
8	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 指定されたドレスに対し、ヘア(面スタイル)・メイクを考え時間内に作成する(90分)			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	コレクションメイク	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
世界3大コレクション(パリ・ミラノ・ニューヨーク)でのメイクの特性を理解し、実際にモデルに施術を行う							
【授業を通じての到達目標】							
日常生活のメイクとショーメイクの違いを知る 地域の違い・テーマ設定によるメイクの違いを表現できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ・3大コレクションのメイクを知る ・コレクションメイク施術 【到達目標】 ・パリコレクションのヘアメイク特性を知る ・ミラノコレクションのヘアメイク特性を知る ・ニューヨークコレクションのヘアメイク特性を知る			9	11～15回 【授業単元】 ヘアメイク施術と発表 【到達目標】 ・コンセプトシートを基にヘアメイクを施すことができる ・各グループで施術したモデルを比較しコレクションによるヘアメイクの違いと共通部分を確認する		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術講習会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
モデルに対しヘアメイクの施術を行い撮影やショーなど実際の技術を間近で見ることで自身の技術力向上につなげる							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアメイクの実践技術が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 撮影用ヘアメイクの技術を体験し身に付ける 【到達目標】 実際のモデルにヘアメイクの施術を行い、作品を撮影しポートフォリオを作る			9	11～15回 【授業単元】 ショーメイクの技術を体験し身に付ける 【到達目標】 ヘアメイクの作品制作の他、衣装コーディネートもチームで話し合い、一つの作品を作り上げていく 出来上がったモデルを実際にショー形式で発表する		
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術交換会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年生に技術を教えることにより、教えることの難しさや楽しさを知り、業界に出た時の後輩指導に役立てる。							
【授業を通じての到達目標】							
人にわかりやすく教えるためにはどのようにすればよいか理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 授業計画 【到達目標】 ・1年生に対してどのような授業を提供するかを考え計画することができる。 ・自身の技術交換会での役割を明確にすることができる			9	11～15回 【授業単元】 模擬授業・技術交換会当日 【到達目標】 ・当日を前に模擬授業を行い当日のシュミレーションを行うことができる ・1年生にわかりやすく授業をすることができる。		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。							
【特記事項】							

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	中村 友紀
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 ヘアメイク分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対してお直しのメイクアップ・ヘアセットをする							
【授業を通じての到達目標】							
お客様に合わせて、お直しのヘアセットを短時間ですることができる チームでの仕事ができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ヘアメイク練習 【到達目標】 ・メイクアップが完了したお客様に制限時間内でヘアメイクを行うことができる ・コミュニケーションをとりながら気持ちのよい接客をすることができる ・チーム連携が取れるようになる			9	11～15回 【授業単元】 お客様に対してのお直し 【到達目標】 ・制限時間内にヘアメイクができるようになる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ビューティアドバイザーメイク	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	関 亜沙美
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	4セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年半かけて修得してきたメイクアップの知識やテクニックを踏まえ、実践に即した形でより深い内容を学ぶ。 メイクアップに携わる者として現場で通じる理論とテクニックを身につけ社会に出てから活かせるようにする。 *メイクアップスクール講師、企業、サロン、美容部員の教育に携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
お客様のご希望に応え満足を提供し、またお悩みを引き出して解消して差し上げられる知識とメイクアップテクニックを身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
メイク道具一式 メイク総合演習専用ファイル 筆記用具							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】敬語は「言葉の身だしなみ」 社会に出るにあたり、常識としての敬語を身につける。 【到達目標】 この授業の目標と内容を理解する。 覚えておきたい敬語の言い換え 敬語の種類、日本語の美しさを学ぶ テスト			8	【授業単元】知的好奇心を高める。 レポート作成の基本的な構成を学ぶ。 【到達目標】 調べるテーマを決めて発表する。渋谷区立中央図書館に向向き、 テーマに基づいた本を選び時間内でレポートを作成する。		
2	【授業単元】エイジングメイクアップ・1 【到達目標】 加齢により起きる身体や肌、顔の変化(老化)を理論的なしくみから理解し お客様のお悩みに寄り添えるようにする。 老化によるパーツ毎の対処の理論とメイクアップテクニックを学ぶ。			9	【授業単元】配色の基本を学び、アイメイクの色バランスを把握する。 【到達目標】 グラデーション配色、ドミナント配色、コントラスト配色、アクセント配色の 基本を理解し色バランスのコーディネートに身につける。 フェイスチャートを作成し相モデルにてフルメイクを仕上げる。		
3	【授業単元】エイジングメイクアップ・2 【到達目標】 エイジレスメイクアップのパターンを理解しフェイスチャートを描く。 それを元に相モデルにてフルメイクを仕上げる。			10	【授業単元】顔型修整と配色の基本を踏まえベースメイクアップ ポイントメイクを提案、メイクアップする。 【到達目標】単元4. 5. 6回で行った、お客様のお悩みに応じた顔型 整や、パーツの配置を変えて見せる理論とテクニックを応用させ、お客様 のお悩みを引き出し、そのお悩みを解消して差し上げられるようフェイス チャートを作成、相モデルにてフルメイクをフルメイクを仕上げる。		
4	【授業単元】顔型修整のベースメイクアップを学ぶ 【到達目標】 黄金比、白銀比をふまえお客様の顔型のお悩みに対応出来るベース メイクアップ(ハイライト・シェイディング)、チークを確認し修得する。			11	【授業単元】パーソナルカラー(似合う色診断)をしてメイクアップ デザインを相モデルで提案する・1 【到達目標】パーソナルカラー、色の三属性を確認しお客様に似合う メイクアップをコーディネートし、しっかりと敬語を使用し文章で提案する。 お客様が目で見ても耳で聞いて頭で理解して、ご納得して頂けるようにす る。		
5	【授業単元】パーツの配置を変えて見せるイメージメイクアップ・1 【到達目標】 お顔のパーツが離れ気味である事がお悩みのお客様に合わせて、 求心的に見せるメイクアップの理論、テクニックを学ぶ。 フェイスチャートを作成後、相モデルにてフルメイクを仕上げる。			12	【授業単元】パーソナルカラー(似合う色診断)をしてメイクアップ デザインを相モデルで提案する・2 【到達目標】お客様のお悩みを引き出したうえで、パーソナルカラーを 活用し、今迄学んできた顔型修整、パーツの配置を変えて見せるイメージ メイクや配色の基本を駆使し、お客様のご希望に寄り添ったメイクアップを 提案、相モデルにてフルメイクを仕上げる		
6	【授業単元】パーツの配置を変えて見せるイメージメイクアップ・2 【到達目標】 お顔のパーツが近づき気味である事がお悩みのお客様に合わせて、 遠心的に見せるメイクアップの理論、テクニックを学ぶ。 フェイスチャートを作成後、相モデルにてフルメイクを仕上げる。			13	【授業単元】セルフプロデュースメイクアップ 【到達目標】 今まで、学んできた事の全てをふまえ、自分の顔を分析し、なりたい自分 像や憧れのイメージになるようにメイクアップを構築する。 フェイスチャートを作成しフルメイクを仕上げる		
7	【授業単元】中間試験 【到達目標】 お客様のお悩みに対応したベースメイクアップ(ハイライト・シェイディ ング)、ポイントメイクを提案する。フェイスチャート作成し、フルメイクを仕上 げる			14	【授業単元】お客様のご希望通りのメイクアップを仕上げる 【到達目標】 今まで、学んできた事の全てをふまえ、お客様の顔を分析し、お客様の ご希望通りのメイクアップを提案する。フェイスチャートを作成(文章は敬語 で記入)しフルメイクを仕上げる。会話もきちんと敬語を使用する。		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点)不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	定期試験 【到達目標】 お客様のご希望通りのメイクアップを提案する。フェイスチャートを作成(文 章は敬語で記入)し50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる。会話も きちんと敬語を使用する。		

科目名 (英)	スキンケアタッチアップ		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林
学科・コース	トータルビューティー科　ビューティアドバイザー分野		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	後期
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 4タイプの肌質を診断して、肌悩みを改善し、望む肌へと導ける。スキンケアカウンセリングを実践できる								
【授業を通じての到達目標】 視診・問診・触診で肌悩みを改善し、なりたい肌を実現できるスキンケアカウンセリングを5分間で実践できるようになる								
【使用教科書・教材・参考書】 メイク道具一式、筆記用具、配布プリント用ファイル					【授業外における学習】			
回	授　業　概　要				回	授　業　概　要		
1	【授業単元】 年代による肌悩みを理解する① 【到達目標】 肌質、年代悩みを共有する				8	【授業単元】 シミの種類、肌状態、原因・改善策を知る② 【到達目標】 シミが肌悩みの方へのカウンセリングができる		
2	【授業単元】 年代による肌悩みを理解する② 【到達目標】 肌質、年代悩みを共有する				9	【授業単元】 クマの種類、肌状態、原因、改善策を知る① 【到達目標】 クマが肌悩みの方へのカウンセリングができる		
3	【授業単元】 ニキビの種類、肌状態、原因、改善策を知る① 【到達目標】 ニキビが悩みの方へのカウンセリングができる				10	【授業単元】 クマの種類、肌状態、原因、改善策を知る② 【到達目標】 クマが肌悩みの方へのカウンセリングができる		
4	【授業単元】 ニキビの種類、肌状態、原因、改善策を知る② 【到達目標】 ニキビが悩みの方へのカウンセリングができる				11	【授業単元】 シワの種類、肌状態、原因、改善策を知る① 【到達目標】 シワが肌悩みの方へのカウンセリングができる		
5	【授業単元】 毛穴の種類、肌状態、原因、改善策を知る① 【到達目標】 毛穴が肌悩みの方へのカウンセリングができる				12	【授業単元】 シワの種類、肌状態、原因、改善策を知る① 【到達目標】 シワが肌悩みの方へのカウンセリングができる		
6	【授業単元】 毛穴の種類、肌状態、原因、改善策を知る② 【到達目標】 毛穴が肌悩みの方へのカウンセリングができる				13	【授業単元】 相モデルでスキンケアカウンセリング練習① 【到達目標】 スキンケアカウンセリングにプラスワンアイテムアドバイスができる		
7	【授業単元】 シミの種類、肌状態、原因・改善策を知る① 【到達目標】 シミが肌悩みの方へのカウンセリングができる				14	【授業単元】 相モデルでスキンケアカウンセリング練習② 【到達目標】 スキンケアカウンセリングにプラスワンアイテムアドバイスができる		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価（80～100点）/B評価（70～79点）/C評価（60～69点） D評価（0～59点） 不合格/E評価（出席不良・評価資格喪失） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 学んだ知識を基にした肌タイプ別カウンセリングを行えるようになる		
					【特記事項】			

科目名 (英)		メイクアッププロデュース	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	久保 周平
			授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース		トータルビューティ科ビューティアドバイザー分野						
		曜日・時間						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
デッサン力を付け、実際に施したメイクアップのフェイスチャートを描ける様になる。								
* 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(久保)								
【授業を通じての到達目標】								
物の陰影、グラデーションを理解する。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、配布プリント用ファイル								
回	授 業 概 要				回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 物の形を描ける様になる。 【到達目標】 モチーフの形を捉え、図面への起こし方を学ぶ。陰影のつけ方を知る。				8	【授業単元】 お客様が自身でメイクを再現出来る様、ノエイムナヤートを作成出来る様になる。 【到達目標】 相モデルでフルメイクを仕上げ、解説を付けたフェイスチャートを作成する。		
2	【授業単元】 図面に起こしたモチーフに陰影をつけられる様になる。 【到達目標】 光が何処から当たり何処に影が落ちるかを捉え立体感をつける。				9	【授業単元】 お客様が自身でメイクを再現出来る様、ノエイムナヤートを作成出来る様になる。 【到達目標】 相モデルでフルメイクを仕上げ、解説を付けたフェイスチャートを作成する。		
3	【授業単元】 質感の違いを描き分けられる様になる。 【到達目標】 異なる材質のモチーフを鉛筆の走らせ方、陰影のつけ方で描き分ける。				10	【授業単元】 お客様が自身でメイクを再現出来る様、ノエイムナヤートを作成出来る様になる。 【到達目標】 相モデルでフルメイクを仕上げ、解説を付けたフェイスチャートを作成する。		
4	【授業単元】 質感の違いを描き分けられる様になる 【到達目標】 異なる材質のモチーフを鉛筆の走らせ方、陰影のつけ方で描き分ける。				11	【授業単元】 ポイントメイクの紹介、タッチアップが出来る様になる。 【到達目標】 相モデルを2回転し、それぞれがポイントメイクのリタッチをする。(リップ、アイメイク等)		
5	【授業単元】 人物を描ける様になる。 【到達目標】 髪、筋肉、皮膚の動きを捉える。				12	【授業単元】 ポイントメイクの紹介、タッチアップが出来る様になる。 【到達目標】 相モデルを2回転し、それぞれがポイントメイクのリタッチをする。(リップ、アイメイク等)		
6	【授業単元】 人物を描ける様になる。 【到達目標】 髪、筋肉、皮膚の動きを捉える。				13	【授業単元】 洋服に合うメイクを提案出来る様になる。 【到達目標】 指定された洋服に合わせたフルメイクを相モデルで実施。		
7	【授業単元】 中間テスト フェイスチャートとメイクを時間内に完成させる。 【到達目標】 フェイスチャートを描き、同じメイクを相モデルに施す。				14	【授業単元】 洋服に合うメイクを提案出来る様になる。 【到達目標】 指定された洋服に合わせたフルメイクを相モデルで実施。		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点) 不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 自身が習得した技術を全て活用し、時間内にメイクを仕上げる。		
					【特記事項】			

科目名 (英)	フレグランス (Fragrance)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	佐藤 優
学科・コース	トータルビューティ科・ビューティアドバイザー分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日 ・ 3限4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師免許を所持し化粧品メーカーにて販売チーフの経験のある講師が香料(フレグランス・香水)について、材料から実際の活用までの一連の課程を教授する。授業は実技を交えた演習形式で行い、実際の香料を用いて体系的に理解を深めていく授業を展開する。							
【授業を通じての到達目標】							
香料が何からできていてどのような効果があるのか理解する。その適切な活用によってフレグランスと名称定義することから、あらゆる場面においての活用方法を理解する。この授業を通じてフレグランスに対する基本的な知識を有すると同時に実践で活用できるようになることを到達目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
講師作成資料・アロマオイル(生活の木)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業概要・到達目標・評価方法説明・香料の定義 【到達目標】 授業内容・目標を理解する 香料の定義を理解する 香料の歴史について理解する			9	【授業単元】 天然物質別芳香化合物② 【到達目標】 植物性物質・・・樹木・草を材料とした芳香性化合物を知る 芳香性物質の抽出精製方法を知る 香りの特性を理解する		
2	【授業単元】 化粧品、医薬部外品、薬用化粧品の区別 【到達目標】 化粧品、医薬部外品、薬用化粧品の違いを理解する 原材料の種類を知る			10	【授業単元】 天然物質別芳香化合物③ 【到達目標】 動物性物質・・・陸生哺乳類を材料とした芳香性化合物 芳香性物質の抽出精製方法 香りの特性		
3	【授業単元】 化学物質別芳香物質① 【到達目標】 無機化合物の中の芳香物質について理解する 無機化合物の中の芳香物質について理解する			11	【授業単元】 天然物質別芳香化合物③ 【到達目標】 動物性物質・・・陸生哺乳類を材料とした芳香性化合物 芳香性物質の抽出精製方法 香りの特性		
4	【授業単元】 化学物質別芳香物質② 【到達目標】 ベンゼン環を有する芳香性化合物を知る 香りの特性を理解する 調合の割合を知る			12	【授業単元】 芳香性物質の調合からフレグランスができるまで 【到達目標】 調合の割合と反化合物の活用方法を理解する 噴霧器の種類と使用方法を理解する 容器のデザインが及ぼす物質への影響を知る		
5	【授業単元】 化学物質別芳香物質③ 【到達目標】 アンモニウム-アルキル基材を有する芳香性化合物を知る 香りの特性理解する 調合の割合を知る			13	【授業単元】 人の特性に合わせたフレグランスの活用 【到達目標】 女性向け原種類と香料を理解する 男性向け原種類と香料を理解する 香料がもつ心身への影響を理解する		
6	【授業単元】 化学物質別芳香物質④ 【到達目標】 シアン系芳香性化合物を知る 香りの特性を理解する 調合の割合を知る			14	【授業単元】 TPOに合わせたフレグランス① 【到達目標】 日常生活での活用方法を考える 職場での活用方法を考える 社交場での活用方法を考える		
7	【授業単元】 化学物質別芳香物質⑤ 【到達目標】 脂肪酸・アルコール製剤の芳香性化合物を知る 香りの特性を理解する 化合物の特性を知る			15	【授業単元】 TPOに合わせたフレグランス② 【到達目標】 今までの学びを踏まえた上で、効果的なフレグランスの活用方法を 実施しプレゼンテーションする。		
8	【授業単元】 天然物質別芳香化合物① 【到達目標】 植物性物質・・・花・花卉を材料とした芳香性化合物を知る 芳香性物質の抽出精製方法を知る 香りの特性を理解する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ファッションメイク演習	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	堤 里海
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	4セメスター
学科・コーストータルビューティ科 メイクアップコース						曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクの基礎知識に加え、様々なジャンルの技術を知り、現場や作品作りで応用力を身につける。 ※外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼ミスグラントジャパン公式メイクトレーナーを勤める。他MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。							
【授業を通じての到達目標】							
メイク基礎知識に加え、様々なジャンルを知り、現場や作品作りでの応用力を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 テーマ別①:撮影へ向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える。 【到達目標】 コンセプトシート作成、デザイン作成、タイムスケジュールなどの計画を立てる。			8	【授業単元】 トレンドメイクにおいて肉眼での質感と写真での違いを知る。 【到達目標】 トレンドフルメイク作成→肉眼と写真での質感(ツヤ、マット)の見え方の違いを比べてみる。		
2	【授業単元】 テーマ別①: 撮影会 【到達目標】 コンセプトシートに基づき作品の完成→撮影を行う。			9	【授業単元】 トレンドメイクにおいて肉眼での質感と写真での違いを知る。 【到達目標】 トレンドフルメイク作成→肉眼と写真での発色の見え方の違いを比べてみる。		
3	【授業単元】 テーマ別②:撮影へ向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える。 【到達目標】 コンセプトシート作成、デザイン作成、タイムスケジュールなどの計画を立てる。			10	【授業単元】 トレンド別①: 撮影へ向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える。 【到達目標】 コンセプトシート作成→デザイン作成、手順、タイムスケジュールなどの計画を立てる。		
4	【授業単元】 テーマ別②: 撮影会 【到達目標】 コンセプトシートに基づき作品の完成→撮影を行う。			11	【授業単元】 トレンド別①: 撮影会 【到達目標】 コンセプトシートに基づき作品の作成→撮影を行う。		
5	【授業単元】 テーマ別撮影会へ向けて各自テーマを考え、作品を構成する。 【到達目標】 各自テーマ決め→コンセプトシート作成(作品のデザイン作成、手順、タイムスケジュールなど)計画を立てる。			12	【授業単元】 トレンド別②: 撮影へ向けてテーマに沿った作品のデザイン、手順を考える。 【到達目標】 コンセプトシート作成→デザイン作成、手順、タイムスケジュールなどの計画を立てる。		
6	【授業単元】 コンセプトシートに沿った時間内にヘアメイクを完成させ構成の最終確認を行う。 【到達目標】 各自コンセプトシートに沿って練習→タイム内でヘアメイクの練習。			13	【授業単元】 トレンド別②: 撮影会 【到達目標】 コンセプトシートに基づき作品の作成→撮影を行う。		
7	【授業単元】 各自作品の構成を考え計画を立てながら自分の作品を完成させる。 【到達目標】 中間テスト:テーマ別撮影会			14	【授業単元】 撮影会へ向けて各自テーマを考え、作品を構成する。 【到達目標】 各自テーマ決め→コンセプトシート作成→作品のデザイン作成、手順、タイムスケジュールなどの計画を立てる。		
【評価について】 ●小テスト40点、定期試験60点、計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(0～59点)不合格/E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				15	【授業単元】 各自作品の構成を考え計画を立てながら自分の作成を完成させる。 【到達目標】 定期テスト:テーマ別撮影会		
				【特記事項】			

科目名 (英)	ビューティコンサルテーション講習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	坂松 香織
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
お客様のお悩みに合わせて適切なメイクアップ技術を行う							
【授業を通じての到達目標】							
お客様のお悩みを引き出すカウンセリングを行い、お客様に合わせたメイクアップの提案ができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 カウンセリング 【到達目標】 ・カウンセリングを行いお客様のお悩みを引き出す ・相モデルを変えてそれぞれのお客様のお悩みを引き出す ・コンサルテーションシートに記入することができる			9	11～15回 【授業単元】 お客様のお悩みに合ったメイクアップを施す 【到達目標】 ・コンサルテーションシートを基にメイクアップを施すことができる ・相モデルを変えて時間内にコンサルテーションからメイクアップ技術までを施すことができる。		
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術講習会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 優
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブランド別の方をお呼びしプロの技術を間近で見ることで自身の技術力向上につなげる							
【授業を通じての到達目標】							
それぞれのブランドのメイクアップ技術を知ることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 ブランド別のメイクアップの技術を知る 【到達目標】 ・ブランド別のメイクアップ技術を知り実践することができる。			9	11～15回 【授業単元】 ブランド別の手技を相モデルで反復練習をする 【到達目標】 ・自身が選んだブランドのメイクアップの技術をお客様のお迎え～技術～お見送りまで出来るようになる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術交換会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 優
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年生に技術を教えることにより、教えることの難しさや楽しさを知り、業界に出た時の後輩指導に役立てる。							
【授業を通じての到達目標】							
人にわかりやすく教えるためにはどのようにすればよいか理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 授業計画 【到達目標】 ・1年生に対してどのような授業を提供するかを考え計画することができる。 ・自身の技術交換会での役割を明確にすることができる			9	11～15回 【授業単元】 模擬授業・技術交換会当日 【到達目標】 ・当日を前に模擬授業を行い当日のシュミレーションを行うことができる ・1年生にわかりやすく授業をすることができる。		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【評価について】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤 優
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 ビューティアドバイザー分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対してお直しのメイクアップをする							
【授業を通じての到達目標】							
お客様に合わせて、お直しのメイクアップを短時間ですることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 お直しメイクの練習 【到達目標】 ・すっぴんの状態から短時間でフルメイクを似合わせて行うことができる。 ・コミュニケーションをとりながら気持ちのよい接客をすることができる			9	11～15回 【授業単元】 お客様に対してのお直し 【到達目標】 ・エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対して、短時間でフルメイクを完成させることができる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	フェイシャル実技	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤 麻代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クライアントのお悩みに合わせて効果的なトリートメントプランをたてて、スムーズにトリートメントを行えるようになる。また新技術の知識なども取り入れることで、自己の学習意識を高める。 ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当する。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なエステティックを学び、効果的なトリートメントをスムーズに行えるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ボディサイズダウンコース 採寸→G5→ハンドトリートメント→採寸 【到達目標】 G5とハンドテクニックによるサイズダウンコースができるようになる			9	【授業単元】 外部講習 【到達目標】 美容ライト機器講習会		
2	【授業単元】 フェイシャルクリーンアップコース クレンジング→吸力(ツレイ/ハツソ)→高周波・超音波→マツパーン→パック 【到達目標】 クリーンアップコースができるようになる			10	【授業単元】 美容ライト 【到達目標】 美容ライト機器を使用しフェイシャルトリートメントができるようになる		
3	【授業単元】 ボディ痩身コース 採寸→ハンドトリートメント→低周波→ヒートマット→採寸 【到達目標】 低周波による痩身コースができるようになる			11	【授業単元】 外部講習 【到達目標】 化粧品講習会		
4	【授業単元】 フェイシャル(ニキビ) 【到達目標】 ニキビケア(鎮静ケア)ができるようになる			12	【授業単元】 化粧品体験会 【到達目標】 (外部講習で学んだ)化粧品を使用してトリートメントができるようになる		
5	【授業単元】 フェイシャル(シミ・くすみ) 【到達目標】 美容液、ホワイトニング化粧品を使用しシミ・くすみケアができるようになる			13	【授業単元】 フェイシャルまたはボディ 【到達目標】 クライアントに効果的なプランをたててスムーズにトリートメントできるようになる(目標設定3回コース1回目)		
6	【授業単元】 ボディ(ホットストーン) 【到達目標】 ホットストーンを使ったトリートメントができるようになる			14	【授業単元】 フェイシャルまたはボディ 【到達目標】 クライアントに効果的なプランをたててスムーズにトリートメントできるようになる(目標設定3回コース2回目)		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 クライアントに効果的なプランをたてて、スムーズにトリートメントができる			15	【授業単元】 定期テスト フェイシャルまたはボディ 3回コースの結果 【到達目標】 クライアントに効果的なプランをたててスムーズにトリートメントできるようになる(目標設定3回コース最終)		
8	【授業単元】 フェイシャル(エイジングケア) 【到達目標】 エイジングケア化粧品を使用しケアができるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ボディ実技	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	福岡 佐智代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	4セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
様々なハンドテクニックを理解し、各技術の習得ができるようになる。 ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】							
ボディエステティックを通し、各マッサージやテクニックを学び、トリートメント方法を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
各技術のプリント、ボディ実技準備物一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】ストーンセラピーについて 【到達目標】 ストーンセラピーについて理解を深め、トリートメント方法を修得する			9	【授業単元】ハーブボールについて 【到達目標】 ハーブボールのあて方、温度に注意し、トリートメントすることができる。		
2	【授業単元】ストーンセラピーについて 【到達目標】 スムーズにストーンを配置し、効果的なトリートメントができるようになる。			10	【授業単元】痩身トリートメントについて 【到達目標】 ボディータイプを理解し、痩身ケアに効果的な機器・マッサージを行うことができる。		
3	【授業単元】タイ古式マッサージについて 【到達目標】 タイ古式マッサージについて(セン)理解を深め、マッサージ・ストレッチ方法を修得する。			11	【授業単元】痩身トリートメントについて 【到達目標】 化粧品の特徴・効果を理解し、痩身トリートメントすることができる。		
4	【授業単元】タイ古式マッサージについて 【到達目標】 お客様に無理のない姿勢・リズムでストレッチすることができるようになる。			12	【授業単元】痩身トリートメントについて 【到達目標】 お客様の要望(悩み)に合わせた痩身ケアをすることができる。		
5	【授業単元】ヘッドマッサージについて 【到達目標】 頭のツボ・筋肉・神経を理解し、マッサージすることができる。			13	【授業単元】デコルテ・ヘッドマッサージについて 【到達目標】 お客様と呼吸を合わせ、適度な力加減でマッサージすることができる。		
6	【授業単元】ストーンセラピー・タイ古式マッサージについて 【到達目標】 それぞれの特徴を理解し、お客様の状態に合わせてトリートメントすることができる。			14	【授業単元】ハーブボール・痩身トリートメントについて 【到達目標】 お悩みに合わせたトリートメントができるようになる。的確なアドバイス(生活習慣・食事等)ができるようになる		
7	【授業単元】中間テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～ストーンセラピー～タイ古式マッサージの一連の流れ			15	【授業単元】定期テスト 【到達目標】 実技試験 ご案内～ハーブボール～痩身トリートメントの一連の流れ		
8	【授業単元】ハーブボールについて 【到達目標】 ハーブボールについて理解を深め、トリートメントすることができる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	リフレクソロジー	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤麻代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	4セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野					2	曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
生活の中やサロンワークなどでもアロマテラピーは一般的に広く活用されています。アロマテラピーを安全により効果的に活用するためにアロマテラピーの基本を学び、エステティシャン、セラピストとしての知識をの幅を広げ、身につける。 ※サロンワークにてアロマを使ったマッサージ等を行う。また地域でアロマクラフトの講座やアロマを使ったボランティア活動などにも携わる							
【授業を通じての到達目標】							
リフレクソロジーの歴史、目的、効果を学び、リフレクソロジーをトリートメントとして行えるようにする							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 セッティング、注意点、基本テクニックを学ぶ① 【到達目標】 リフレクソロジーの歴史、目的、効果を学ぶ①			9	【授業単元】 お客様の変調に注意しながら反射区を刺激する③ 【到達目標】 臓器と疾病について学ぶ③		
2	【授業単元】 セッティング、注意点、基本テクニックを学ぶ② 【到達目標】 リフレクソロジーの歴史、目的、効果を学ぶ②			10	【授業単元】 お客様の変調に注意しながら反射区を刺激する④ 【到達目標】 臓器と疾病について学ぶ④		
3	【授業単元】 足裏の反射区に合わせて手を動かす① 【到達目標】 足の構造、反射区について学ぶ①			11	【授業単元】 カウンセリングを行う① 【到達目標】 お客様に対してカウンセリングからトリートメント、本日の状態までお伝えすることができるようになる①		
4	【授業単元】 足裏の反射区に合わせて手を動かす② 【到達目標】 足の構造、反射区について学ぶ②			12	【授業単元】 カウンセリングを行う② 【到達目標】 お客様に対してカウンセリングからトリートメント、本日の状態までお伝えすることができるようになる②		
5	【授業単元】 手順に沿って、トリートメントを行う① 【到達目標】 反射区について学ぶ①			13	【授業単元】 カウンセリングを行う③ 【到達目標】 お客様に対してカウンセリングからトリートメント、本日の状態までお伝えすることができるようになる③		
6	【授業単元】 手順に沿って、トリートメントを行う② 【到達目標】 反射区について学ぶ②			14	【授業単元】 カウンセリングを行う④ 【到達目標】 お客様に対してカウンセリングからトリートメント、本日の状態までお伝えすることができるようになる④		
7	【授業単元】 お客様の変調に注意しながら反射区を刺激する① 【到達目標】 臓器と疾病について学ぶ①			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 ここまで学んだ知識・技術を確認する		
8	【授業単元】 お客様の変調に注意しながら反射区を刺激する② 【到達目標】 臓器と疾病について学ぶ②			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	カラーセラピー	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤麻代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時間	4セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
生活の中やサロンワークなどでもアロマセラピーは一般的に広く活用されています。アロマセラピーを安全により効果的に活用するためにアロマセラピーの基本を学び、エステティシャン、セラピストとしての知識をの幅を広げ、身につける。 ※サロンワークにてアロマを使ったマッサージ等を行う。また地域でアロマクラフトの講座やアロマを使ったボランティア活動などにも携わる							
【授業を通じての到達目標】							
カラーセラピーの基礎や本質を知り、現場で活かせる知識、技術、感性を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
カラーペン、ファイル、プリント							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 癒しの手をつくるポイント 【到達目標】 癒しの手をつくる方法を理解して活用できるようになる			9	【授業単元】 トラブル別の色の活用 【到達目標】 トラブル別の色の活用方法を知る		
2	【授業単元】 癒しの手をつくるポイント 【到達目標】 癒しの手をつくる方法を理解して活用できるようになる			10	【授業単元】 トラブル別の色の活用 【到達目標】 トラブル別の色の活用方法を知る		
3	【授業単元】 癒しの手をつくるポイント 【到達目標】 癒しの手をつくる方法を理解して活用できるようになる			11	【授業単元】 トラブル別の色の活用 【到達目標】 トラブル別の色の活用方法を知る		
4	【授業単元】 精油の色と心と体の状態 【到達目標】 精油の色と心と体の状態とのつながりを知る			12	【授業単元】 トラブル別の色の活用 【到達目標】 トラブル別の色の活用方法を知る		
5	【授業単元】 精油の色と心と体の状態 【到達目標】 精油の色と心と体の状態とのつながりを知る			13	【授業単元】 トラブル別の色の活用 【到達目標】 トラブル別の色の活用方法を知る		
6	【授業単元】 精油の色と心と体の状態 【到達目標】 精油の色と心と体の状態とのつながりを知る			14	【授業単元】 トラブル別の色の活用 【到達目標】 トラブル別の色の活用方法を知る		
7	【授業単元】 精油の色と心と体の状態 【到達目標】 精油の色と心と体の状態とのつながりを知る			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 ここまで学んだ知識・技術を確認する		
8	【授業単元】 精油の色と心と体の状態 【到達目標】 精油の色と心と体の状態とのつながりを知る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	AEA検定対策	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐野 みゆき
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	4セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティシャンとして実技と連動した知識を身につけ検定試験に合格する ※講師はエステティシャンとして現在まで数多くのお客様方の美容上のお悩みをケアをした経験を持ち、日本エステティック協会・日本エステティック業協会認定講師が担当する							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定試験、AJESTHE上級認定試験で必要となる衛生・消毒、実技理論、コンサルテーションを理解しスムーズに実践できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
AEAテキスト、新エステティック学 理論編Ⅱ							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 衛生・消毒 【到達目標】 ・衛生・消毒の大切さを理解する ・施設の衛生管理を知る			9	【授業単元】 フェイシャル実技理論② 【到達目標】 ・肌タイプと肌トラブルに合ったコースを考え提案できるようになる ・化粧品の選び方を学ぶ		
2	【授業単元】 電気機器の種類と原理 【到達目標】 ・エステティックで使用する電気機器の種類と原理を知る ・電気機器の活用方法を知る ・電気機器を使用する際の禁忌事項を覚える			10	【授業単元】 フェイシャル実技理論③ 【到達目標】 ・肌タイプと肌トラブルに合ったコースを考え提案できるようになる ・肌タイプ別の機器の選び方を学ぶ		
3	【授業単元】 ボディ実技理論① 【到達目標】 ・ボディケアの目的を理解する ・体型の確認(筋肉・脂肪)を覚える ・ボディケアでの禁忌事項を覚える			11	【授業単元】 フェイシャル実技理論④ 【到達目標】 フェイシャルケア後のカウンセリングとホームケアアドバイスを学ぶ (肌タイプ別/肌トラブル別)		
4	【授業単元】 ボディ実技理論② 【到達目標】 ・ボディ化粧品の種類と目的を知る ・お体の状態と目的に合わせたコースを考え提案できるようになる (下半身のサイズダウン)			12	【授業単元】 フェイシャル実技理論⑤ 【到達目標】 お悩みに応じたコースの提案、ホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入し、アドバイスの実践ができるようになる		
5	【授業単元】 ボディ実技理論③ 【到達目標】 お体の状態と目的に合わせたコースを考え提案できるようになる ウエイトダウン			13	【授業単元】 施術前のカウンセリング 【到達目標】 ・カウンセリングの方法(問診、視診、触診)を覚え実践できるようになる		
6	【授業単元】 ボディ実技理論④ 【到達目標】 お体の状態と目的に合わせたコースを考え提案できるようになる ウエスト、上半身サイズダウン			14	【授業単元】 コンサルテーション 【到達目標】 ボディケア、フェイシャルケアのカウンセリングからコンサルテーションシート記入、コース提案までを決められた時間内でできるようになる		
7	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 お悩みに応じたコースの提案、ホームケアアドバイスをコンサルテーションシートに記入することができる			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 検定試験と同様の時間内で肌、体型の見極めしカウンセリングの後コース提案、化粧品選定、ホームケアアドバイスがコンサルテーションシートに記入できる		
8	【授業単元】 フェイシャル実技理論① 【到達目標】 ・フェイシャルケアの目的 ・肌状態のチェック方法を知る ・禁忌事項を覚える			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	アロマテラピー	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤麻代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	4セメスター
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
生活の中やサロンワークなどでもアロマテラピーは一般的に広く活用されています。アロマテラピーを安全により効果的に活用するためにアロマテラピーの基本を学び、エステティシャン、セラピストとしての知識をの幅を広げ、身につける。 ※サロンワークにてアロマを使ったマッサージ等を行う。また地域でアロマクラフトの講座やアロマを使ったボランティア活動などにも携わる							
【授業を通じての到達目標】							
アロマテラピー検定1級合格							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
アロマテラピー検定テキスト、精油セット							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 アロマテラピーの基本について (P. 8～12) 【到達目標】 アロマテラピーの定義を学び活用方法を理解できるようになる			9	【授業単元】 アロマテラピーのメカニズム (P. 56～60) 【到達目標】 精油が心身に伝わる仕組み、嗅覚器から脳、皮膚に浸透して伝わる経路が理解できるようになる		
2	【授業単元】 精油について(P. 14～26) 【到達目標】 精油の作用、抽出方法、選び方など理解できるようになる			10	【授業単元】 アロマテラピーとビューティ&ヘルスケア (P. 62～74) 【到達目標】 睡眠やストレス、女性ホルモンやスキンケアなどアロマテラピーの活用方法を理解できるようになる		
3	【授業単元】 アロマテラピーの安全性について (P. 28～32) 【到達目標】 精油を安全に使用するための方法を理解できるようになる			11	【授業単元】 アロマテラピーの歴史をひもとく (P. 76～86) 【到達目標】 アロマテラピーの歴史について理解できるようになる		
4	【授業単元】 アロマテラピーを実践する (P. 35～54) クラフト (アロマスプレー) 【到達目標】 アロマテラピーの基材、利用法を理解できるようになる			12	【授業単元】 アロマテラピーに関する法律 (P. 88～92) 【到達目標】 アロマテラピーにおける法律を正しく理解できるようになる		
5	【授業単元】 精油のプロフィール(10種)について ★イランイラン～スイートマジョラム 【到達目標】 10種の精油のプロフィールを理解できるようになる			13	【授業単元】 アロマ検定対策 【到達目標】 模擬問題より出題ポイントを理解する		
6	【授業単元】 精油のプロフィール(10種)について ★ゼラニウム～ベンゾイン 【到達目標】 10種の精油のプロフィールを理解できるようになる			14	【授業単元】 アロマ検定対策 【到達目標】 模擬問題より出題ポイントを理解する		
7	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 筆記試験			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 筆記試験		
8	【授業単元】 精油のプロフィール(10種)について ★ミルラ～ローマンカモミール 【到達目標】 10種の精油のプロフィールを理解できるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	タラソテラピー	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内藤麻代
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	4セメスター
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野					曜日・時間	
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
生活の中やサロンワークなどでもアロマテラピーは一般的に広く活用されています。アロマテラピーを安全により効果的に活用するためにアロマテラピーの基本を学び、エステティシャン、セラピストとしての知識をの幅を広げ、身につける。 ※サロンワークにてアロマを使ったマッサージ等を行う。また地域でアロマクラフトの講座やアロマを使ったボランティア活動などにも携わる							
【授業を通じての到達目標】							
様々なボディマスクが使用できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 下肢・上肢・背中 of スクラブをする① 【到達目標】 ボディスクラブが使用できるようになる①			9	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑦ 【到達目標】 ターンオーバー促進のマスクが使用できるようになる③		
2	【授業単元】 下肢・上肢・背中 of スクラブをする② 【到達目標】 ボディスクラブが使用できるようになる②			10	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑧ 【到達目標】 美白のマスクが使用できるようになる①		
3	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする① 【到達目標】 老廃物除去のマスクが使用できるようになる①			11	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑨ 【到達目標】 美白のマスクが使用できるようになる②		
4	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする② 【到達目標】 老廃物除去のマスクが使用できるようになる②			12	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑩ 【到達目標】 アンチエイジングのマスクが使用できるようになる①		
5	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする③ 【到達目標】 シェイプアップのマスクが使用できるようになる①			13	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑪ 【到達目標】 アンチエイジングのマスクが使用できるようになる②		
6	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする④ 【到達目標】 シェイプアップのマスクが使用できるようになる②			14	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑫ 【到達目標】 アンチエイジングのマスクが使用できるようになる③		
7	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑤ 【到達目標】 ターンオーバー促進のマスクが使用できるようになる①			15	【授業単元】 定期試験 【到達目標】 クライアントの悩みに合ったマスクを選ぶ		
8	【授業単元】 部位を決めて、スクラブ⇒マスク⇒マッサージをする⑥ 【到達目標】 ターンオーバー促進のマスクが使用できるようになる②			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	資格検定講習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白山 かがり
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
資格取得に向けて合格レベルの知識・技術を習得するため							
【授業を通じての到達目標】							
資格の規定に合わせた基準で合格レベルが獲れるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 資格の理解と知識・技術の習得 【到達目標】 ・資格試験の規定を理解することができる。 ・資格試験の知識・技術の習得をすることができる。			9	11～15回 【授業単元】 模擬試験 【到達目標】 ・本番同様の試験を行うことで当日、自身の力を発揮できるようになる。		
2				10			
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術講習会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白山 かがり
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステティック業界の方をお呼びしプロの技術を間近で見ることで自身の技術力向上につなげる							
【授業を通じての到達目標】							
それぞれの企業のエステティック技術を知ることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 企業・ブランド別のエステティックの技術を知る 【到達目標】 ・企業・ブランド別の手技を知り実践することができる。			9	11～15回 【授業単元】 企業・ブランド別の手技を相モデルで反復練習をする 【到達目標】 ・自身が選んだ企業の手技をお客様のお迎え～技術～お見送りまで出来るようになる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【評価について】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	技術交換会	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白山 かがり
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年生に技術を教えることにより、教えることの難しさや楽しさを知り、業界に出た時の後輩指導に役立てる。							
【授業を通じての到達目標】							
人にわかりやすく教えるためにはどのようにすればよいか理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 授業計画 【到達目標】 ・1年生に対してどのような授業を提供するかを考え計画することができる。 ・自身の技術交換会での役割を明確にすることができる			9	11～15回 【授業単元】 模擬授業・技術交換会当日 【到達目標】 ・当日を前に模擬授業を行い当日のシュミレーションを行うことができる ・1年生にわかりやすく授業をすることができる。		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。							
【特記事項】							

科目名 (英)	スチューデントサロン実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白山 かがり
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	トータルビューティ科 エステ分野					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対してお直しのメイクアップをする							
【授業を通じての到達目標】							
お客様に合わせて、お直しのメイクアップを短時間ですることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1～8回 【授業単元】 お直しメイクの練習 【到達目標】 ・すっぴんの状態から短時間でフルメイクを似合わせて行うことができる。 ・コミュニケーションをとりながら気持ちのよい接客をすることができる			9	11～15回 【授業単元】 お客様に対してのお直し 【到達目標】 ・エステサロンでフェイシャルをされたお客様に対して、短時間でフルメイクを完成させることができる		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(0～59点) E評価(出席不良・評価資格喪失) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			